

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

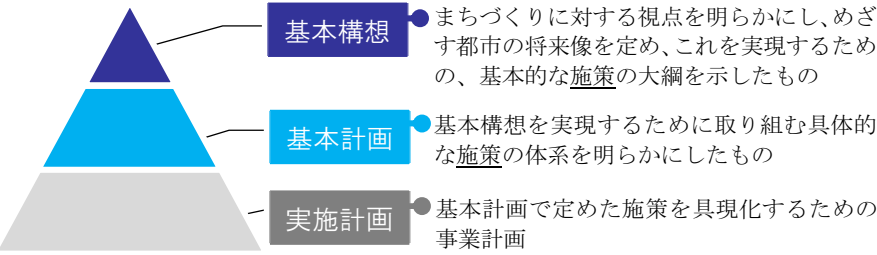
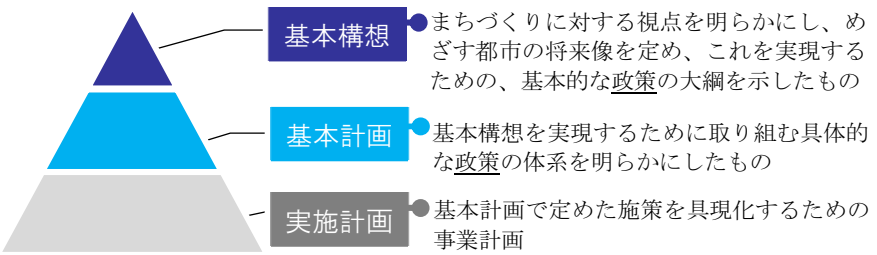
資料 No.1

| 旧   | 新  |
|---|--|
| 目 次   | 目 次  |
| 富士市のあらまし  | 富士市のあらまし   |
| I 序論<br>～省略～  | I 序論<br>～省略～   |
| II 基本構想<br>第1～2章 ～省略～<br>第3章 <u>施策</u> の大綱<br>第4章 ～省略～  | II 基本構想<br>第1～2章 ～省略～<br>第3章 <u>政策</u> の大綱<br>第4章 ～省略～   |
| III 前期基本計画<br>第1部 総論<br>第1章 ～省略～<br>第2章 めざす都市像の実現に向けた基本姿勢<br>第1節 <u>SDGsの活用</u><br>第2節 ～省略～<br>第3章 ～省略～<br>第4章 重点戦略<br>第1節 ～省略～ | III 前期基本計画<br>第1部 総論<br>第1章 ～省略～<br>第2章 めざす都市像の実現に向けた基本姿勢<br>第1節 <u>SDGsの理念の導入</u><br>第2節 ～省略～<br>第3章 ～省略～<br>第4章 重点戦略<br>第1節 ～省略～ |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>第2節 _____ 5つの重点戦略</p> <p>第3節 <u>理想とする未来の姿</u></p> <p>第2部 各論</p> <p>～省略～</p> <p>第3部 総合計画の推進にあたって</p> <p>～省略～</p> <p>第4部 <u>地区別計画</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>第2節 <u>課題解決に向けた5つの</u> 戦略</p> <p>_____</p> <p>第2部 各論</p> <p>～省略～</p> <p>第3部 総合計画の推進にあたって</p> <p>～省略～</p> <p>_____</p> <p><u>IV 地区別計画</u></p> <p><u>参考資料</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>富士市のあらまし<br/>～省略～</p> <p>I 序論</p> <p>第1章 計画策定の目的<br/>～省略～</p> <p>第2章 計画の構成と計画期間<br/>～前略～</p> <p>計画期間については、基本構想は長期的な視点を踏まえ令和4（2022）年度から令和13（2031）年度の10年間とし、基本計画は社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、前期5年間、後期5年間とします。</p> <p>～後略～</p> <p>《 計画の構成 》</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本構想</b> まちづくりに対する視点を明らかにし、めざす都市の将来像を定め、これを実現するための、基本的な<b>施策</b>の大綱を示したもの</li> <li>● <b>基本計画</b> 基本構想を実現するために取り組む具体的な<b>施策</b>の体系を明らかにしたもの</li> <li>● <b>実施計画</b> 基本計画で定めた施策を具現化するための事業計画</li> </ul> | <p>富士市のあらまし（1,2 ページ）<br/>～省略～</p> <p>I 序論</p> <p>第1章 計画策定の目的（5 ページ）<br/>～省略～</p> <p>第2章 計画の構成と計画期間（6 ページ）<br/>～前略～</p> <p>計画期間については、基本構想は長期的な視点を踏まえ令和4（2022）年度から令和13（2031）年度の10年間とし、基本計画は社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、前期5年間、後期5年間とします。</p> <p>～後略～</p> <p>《 計画の構成 》</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>基本構想</b> まちづくりに対する視点を明らかにし、めざす都市の将来像を定め、これを実現するための、基本的な<b>政策</b>の大綱を示したもの</li> <li>● <b>基本計画</b> 基本構想を実現するために取り組む具体的な<b>政策</b>の体系を明らかにしたもの</li> <li>● <b>実施計画</b> 基本計画で定めた施策を具現化するための事業計画</li> </ul> |

## 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>第3章 時代の展望</p> <p>～省略～</p> <p><b>1</b> 少子高齢化と人口減少</p> <p>我が国の人口は、平成20（2008）年をピークに減少局面に入っており、<u>令和元（2019）年10月1日現在の総人口は前年より27万6千人少ない1億2,616万7千人</u>であり、<u>9年連続の減少</u>となりました。</p> <p>こうした中、<u>令和元（2019）年の出生数は、統計を始めた明治32（1899）年以降で過去最少となる86万5,239人</u>となりました。</p> <p>～中略～</p> <p>また、<u>令和元（2019）年10月1日現在の推計人口における15歳から64歳の生産年齢人口の割合は、比較可能な昭和25（1950）年以降過去最低となる59.5%</u>となっています。</p> <p>～後略～</p> <p><b>2</b> 地方都市衰退の危機</p> <p>○中小企業及び小規模企業が抱える課題</p> <p>中小企業等は国内企業の99%以上を占めていますが、地方都市における中小企業等は、デジタル化や専門性を有する人材の確保による生産性の向上、国内外の販路開拓、事業承継など、企業努力のみでは解決が難しい課題を抱えており、今後はこうした<u>問題</u>が一層顕在化してくることが予想されています。</p> | <p>第3章 時代の展望（7～10 ページ）</p> <p>～省略～</p> <p><b>1</b> 少子高齢化と人口減少</p> <p>我が国の人口は、平成20（2008）年をピークに減少局面に入っており、<u>令和2（2020）年10月1日現在の総人口は前年より45万8千人少ない1億2,570万8千人</u>であり、<u>10年連続の減少</u>となりました。</p> <p>こうした中、<u>令和2（2020）年の出生数は、統計を始めた明治32（1899）年以降で過去最少となる84万832人</u>となりました。</p> <p>～中略～</p> <p>また、<u>令和2（2020）年10月1日現在の推計人口における15歳から64歳の生産年齢人口の割合は、比較可能な昭和25（1950）年以降過去最低となる59.3%</u>となっています。</p> <p>～後略～</p> <p><b>2</b> 地方都市衰退の危機</p> <p>○中小企業及び小規模企業が抱える課題</p> <p>中小企業等は国内企業の99%以上を占めていますが、地方都市における中小企業等は、デジタル化や専門性を有する人材の確保による生産性の向上、国内外の販路開拓、事業承継など、企業努力のみでは解決が難しい課題を抱えており、今後はこうした<u>課題</u>が一層顕在化してくることが予想されています。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p><b>3</b> 危機管理の強化<br/>～省略～</p> <p><b>4</b> 高速交通ネットワークの発達<br/>～省略～</p> <p><b>5</b> グローバル化とインバウンドへの対応<br/>グローバル化は、経済や政治の分野だけでなく、市民レベルの交流や文化・スポーツ分野においても多様に広がりつつあるとともに、深刻な労働力不足を背景に外国人労働者が増加してきました。</p> <hr/> <p>～中略～</p> <p>こうした中、令和2（2020）年の新型コロナウイルスの感染拡大による入国制限により、外国人労働者の増加は止まり、訪日外国人旅行者は急激に減少しました。</p> <p>しかしながら、長期的には、我が国の生産年齢人口が今後も減少していく見込みであることや、観光を国の基幹産業として発展させる取組が継続されることにより、外国人労働者や訪日外国人旅行者の増加</p> | <p><b>3</b> 危機管理の強化<br/>～省略～</p> <p><b>4</b> 高速交通ネットワークの発達<br/>～省略～</p> <p><b>5</b> グローバル化とインバウンドへの対応<br/>グローバル化は、経済や政治の分野だけでなく、市民レベルの交流や文化・スポーツ分野においても多様に広がりつつあります。</p> <hr/> <p>こうした中、留学生や技能実習生等の受入れにより在住外国人が増加しており、国は、外国人材を適正に受け入れ共生社会を目指す取組を包括的に推進しています。</p> <hr/> <p>～中略～</p> <p>令和2（2020）年の新型コロナウイルスの感染拡大による入国制限により、外国人の往来が止まり、訪日外国人の数は急激に減少しましたが、</p> <hr/> <p>長期的には、我が国の生産年齢人口が今後も減少していく見込みであることや、観光を国の基幹産業として発展させる取組が継続されることにより、<u>在住外国人</u>や訪日外国人旅行者の増加</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>傾向は<u>継続していく</u>と予想されます。</p> <p><b>6</b> SDG s の達成<br/>～省略～</p> <p><b>7</b> デジタル化の加速<br/>～省略～</p> <p>第4章 市民意識<br/>市民の意識や要望を把握するため、<u>世論調査</u>、市民懇話会、市民団体や業界団体からの意見募集を実施し、これらの結果を踏まえながら、本計画の策定に当たりました。</p> <p><b>1</b> <u>世論</u> 調査<br/>「富士市の将来」について、第五次富士市総合計画の策定時からの市民意識の変化を把握するために、<u>平成 30 (2018) 年 6 月に満 18 歳以上の市民から無作為に抽出した 3,000 人を対象に調査を実施し、対象者の 55.1%、1,654 人から回答を得ました。</u><br/>＜回答者の属性＞ ※ ( ) 内は平成 20 (2008) 年調査の属性別割合<br/><u>性別：男性 43.3% (31.7%) 女性 55.9% (40.6%)</u></p> | <p>傾向は<u>続く</u>と予想されます。</p> <p><b>6</b> SDG s の達成<br/>～省略～</p> <p><b>7</b> デジタル化の加速<br/>～省略～</p> <p>第4章 市民意識 (11～17 ページ)<br/>市民の意識や要望を把握するため、<u>市民及び事業所のアンケート調査</u>、市民懇話会、市民団体や業界団体からの意見募集を実施し、これらの結果を踏まえながら、本計画の策定に当たりました。</p> <p><b>1</b> <u>市民アンケート調査</u><br/>「富士市の将来」について、第五次富士市総合計画の策定時からの市民意識の変化を把握するために、<u>令和 2 (2020) 年 11 月に満 18 歳以上の市民から無作為に抽出した 2,000 人を対象に調査を実施し、対象者の 41.9%、837 人から回答を得ました。</u><br/>＜回答者の属性＞ ※ ( ) 内は平成 20 (2008) 年調査の属性別割合。<br/><u>満 20 歳以上が対象。</u><br/><u>性別：男性 53.3% (31.7%) 女性 46.0% (40.6%)</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>無回答 0.7% (27.7%)</p> <p>年齢：10代 <u>1.1%</u> (－) 注      20代 <u>7.3%</u> (10.2%)</p> <p>          30代 <u>12.7%</u> (16.8%)      40代 <u>17.5%</u> (17.3%)</p> <p>          50代 <u>19.5%</u> (20.4%)      60代 <u>19.6%</u> (21.2%)</p> <p>          70代以上 <u>21.5%</u> (12.9%)      無回答 <u>0.8%</u> (1.3%)</p> <p>注：平成 20 (2008) 年調査は満 20 歳以上が対象</p> <p><u>◎富士市は住みやすい市ですか？</u></p> <p>平成 20 (2008) 年の調査では、「たいへん住みやすい」と「住みやすい」の合計が 70%でしたが、<u>平成 30 (2018) 年の調査では 66%</u>となり、<u>微減</u>しました。</p> <p><u>◎今後も富士市に住みたいと思いますか？</u></p> <p>平成 20 (2008) 年の調査では、「今後も住みたいと思う」が 72%でしたが、<u>平成 30 (2018) 年の調査では 70%</u>であり、<u>大きな変化はありません。</u></p> <p><u>◎市民満足度と重要度のポートフォリオ分析</u></p> <p><u>世論</u> 調査では、市民満足度と併せて、第五次富士市総合計画の章ごとに本市が重点的に取り組むべき節について調査を実施し、その結果を偏差値として 4 分野に分けて散布図としてまとめました。</p> | <p>無回答 0.7% (27.7%)</p> <p>年齢：10代 <u>19.8%</u> (－) -      20代 <u>14.2%</u> (10.2%)</p> <p>          30代 <u>13.7%</u> (16.8%)      40代 <u>18.4%</u> (17.3%)</p> <p>          50代 <u>13.6%</u> (20.4%)      60代 <u>16.7%</u> (21.2%)</p> <p>          70代以上 <u>3.2%</u> (12.9%)      無回答 <u>0.2%</u> (1.3%)</p> <hr/> <p><u>◎富士市は住みやすい市ですか？</u></p> <p>平成 20 (2008) 年の調査では、「たいへん住みやすい」と「住みやすい」の合計が 70%でしたが、<u>令和 2 (2020) 年の調査では 71%</u>となり、<u>微増</u>しました。</p> <p><u>◎今後も富士市に住みたいと思いますか？</u></p> <p>平成 20 (2008) 年の調査では、「今後も住みたいと思う」が 72%でしたが、<u>令和 2 (2020) 年の調査では 67%</u>であり、<u>減少</u>しました。</p> <hr/> <p><u>◎市民満足度と重要度のポートフォリオ分析</u></p> <p><u>市民アンケート</u>調査では、市民満足度と併せて、第五次富士市総合計画の章ごとに本市が重点的に取り組むべき節について調査を実施し、その結果を偏差値として 4 分野に分けて散布図としてまとめました。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>第1章 安全・安心</p> <p>第1節：市民安全 第2節：危機管理</p> <p>第3節：消防・救急・救助 第4節：治山・治水</p> <p>市民安全と消防・救急・救助については満足度が高くなっていますが、危機管理については重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっており、<u>大規模災害</u>に対する防災・減災対策が求められています。</p> <p>第2章 健康・福祉</p> <p>第1節：保健・医療 第2節：子育て 第3節：公的支援</p> <p>第4節：地域福祉</p> <p>子育てについては満足度が高くなっていますが、保健・医療と<u>公的支援</u>については重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっており、医療体制や<u>公的支援</u>の充実が求められています。 _____</p> <hr/> <p>第5章 教育・文化</p> <p>第1節：学校教育 第2節：社会教育・青少年健全育成</p> <p>第3節：市民文化 第4節：生涯スポーツ</p> <p>学校教育については満足度が高くなっていますが、<u>その他</u></p> | <p>第1章 安全・安心</p> <p>第1節：市民安全 第2節：危機管理</p> <p>第3節：消防・救急・救助 第4節：治山・治水</p> <p>市民安全と消防・救急・救助については満足度が高くなっていますが、危機管理については重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっており、<u>自然災害</u>に対する防災・減災対策が求められています。</p> <p>第2章 健康・福祉</p> <p>第1節：保健・医療 第2節：子育て 第3節：公的支援</p> <p>第4節：地域福祉</p> <p>子育てについては満足度が高くなっていますが、保健・医療 _____<br/>_____については重要度が高いにもかかわらず満足度が低くなっており、医療体制 _____ の充実が求められています。また、<u>地域福祉</u>については重要度・満足度ともに低くなっているため、<u>政策の見直しを検討する必要があります。</u></p> <p>第5章 教育・文化</p> <p>第1節：学校教育 第2節：社会教育・青少年健全育成</p> <p>第3節：市民文化 第4節：生涯スポーツ</p> <p>学校教育については満足度が高くなっていますが、<u>社会教育と市</u></p> |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
|---|---|--------------|----------------|---------|---------|-----------|-------------|---------------|-----------|------------|-------------|-----------|-------------|----------|----------|----------|----------|----------------|-------------|----------------|---------|
| <p>_____については重要度・満足度ともに低くなっているため、<u>取組</u>の見直しを検討する必要があります。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>民文化については重要度・満足度ともに低くなっているため、<u>政策</u>の見直しを検討する必要があります。</p> <p><b>2</b> <u>事業所アンケート調査</u></p> <p>本計画の策定にあたり、市内事業所の状況や課題を把握するため、市内 2,000 事業所を対象にアンケート調査を実施し、対象事業所の 33.7%、673 事業所から回答を得ました。</p> <p>&lt;回答事業所の属性&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">業 種：食料品 2.8%</td> <td style="width: 50%;">パルプ・紙・紙加工 7.3%</td> </tr> <tr> <td>化学 2.5%</td> <td>鉄鋼 1.0%</td> </tr> <tr> <td>金属製品 1.3%</td> <td>一般機械器具 1.3%</td> </tr> <tr> <td>プラスチック製品 1.5%</td> <td>電気機器 1.9%</td> </tr> <tr> <td>輸送用機器 2.1%</td> <td>その他製造業 2.5%</td> </tr> <tr> <td>建設業 15.9%</td> <td>運輸・倉庫業 3.7%</td> </tr> <tr> <td>卸売業 8.3%</td> <td>小売業 9.4%</td> </tr> <tr> <td>宿泊業 0.3%</td> <td>飲食業 3.4%</td> </tr> <tr> <td>生活関連サービス業 3.9%</td> <td>医療・福祉 12.9%</td> </tr> <tr> <td>その他の非製造業 17.7%</td> <td>不明 0.1%</td> </tr> </table> <p>従業員数： 1～10 人 30.6%    11～30 人 30.2%</p> <p style="padding-left: 40px;">31～50 人 16.0%    51～100 人 11.3%</p> | 業 種：食料品 2.8% | パルプ・紙・紙加工 7.3% | 化学 2.5% | 鉄鋼 1.0% | 金属製品 1.3% | 一般機械器具 1.3% | プラスチック製品 1.5% | 電気機器 1.9% | 輸送用機器 2.1% | その他製造業 2.5% | 建設業 15.9% | 運輸・倉庫業 3.7% | 卸売業 8.3% | 小売業 9.4% | 宿泊業 0.3% | 飲食業 3.4% | 生活関連サービス業 3.9% | 医療・福祉 12.9% | その他の非製造業 17.7% | 不明 0.1% |
| 業 種：食料品 2.8%  | パルプ・紙・紙加工 7.3%  |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 化学 2.5%   | 鉄鋼 1.0%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 金属製品 1.3%   | 一般機械器具 1.3%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| プラスチック製品 1.5%   | 電気機器 1.9%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 輸送用機器 2.1%  | その他製造業 2.5%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 建設業 15.9%   | 運輸・倉庫業 3.7%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 卸売業 8.3%  | 小売業 9.4%  |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 宿泊業 0.3%  | 飲食業 3.4%  |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| 生活関連サービス業 3.9%  | 医療・福祉 12.9%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |
| その他の非製造業 17.7%  | 不明 0.1%   |              |                |         |         |           |             |               |           |            |             |           |             |          |          |          |          |                |             |                |         |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧                         | 新   |
|---------------------------|---|
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>101～300人 7.6% 301人以上 3.9%</p> <p>不明 0.4%</p>   |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>◎どのような中長期的な課題がありますか？</p> <p><b>【アンケート結果】</b></p> <p>～省略～</p>   |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>5割近くの事業所が「人材不足」（49.2%）、「収益性の向上」（49.0%）、「売上・シェア拡大」（47.0%）を挙げたほか、「労働力不足」（32.5%）、「事業構造見直しの必要性」（23.2%）が続きます。</p> |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>業種別では、製造業・非製造業ともに「人材不足」、「収益性の向上」、「売上・シェア拡大」が4割以上と多くなっています。</p>   |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>製造業では、「技術力・開発力不足」（25.0%）、「多様な人材活用への社内体制未整備」（14.6%）の回答率が非製造業の倍以上となっています。</p>                                  |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>非製造業では、「後継者の不在」（13.4%）、「資金不足」（9.8%）の回答率が製造業より多くなっています。</p>   |
| <p>_____</p> <p>_____</p> | <p>◎中長期的な課題を解決するにはどのような取組が必要ですか？</p> <p><b>【アンケート結果】</b></p> <p>～省略～</p>  |
|                           | <p>「既存事業の拡大や新分野への進出」（40.9%）が最も多く、次いで、「社員教育の拡充」（38.6%）、「従業員の健康管理の強化」（27.6%）、</p>                                 |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新   |
|---|---|
|   | <p>「多様な人材の活用」(27.0%)といった、人材活用に関する項目が上位を占めています。</p>  |
|   | <p>業種別では、製造業で「既存事業の拡大や新分野への進出」(54.9%)の回答が最も多く、非製造業(36.4%)を18.5ポイント上回っています。また、「IT化の推進」(23.8%)、「新たな働き方に対応した人事体制の整備」(20.1%)、「IT化の推進人材の確保・育成」(17.1%)の回答率は非製造業を5ポイント以上上回っています。</p> |
|   | <p>非製造業では、「社員教育の拡充」(37.8%)の回答が最も多く、「従業員の健康管理の強化」(28.0%)、「事業計画見直し」(27.4%)などの回答率が製造業を上回っています。</p>   |
|   | <p>◎市内産業の活性化を図るため、中長期的に市に期待することはな</p>   |
|   | <p>んですか？</p>  |
|   | <p style="text-align: center;"><b>【アンケート結果】</b></p>   |
|   | <p style="text-align: center;">～省略～</p>   |
|   | <p>「人材確保のための採用支援」(42.6%)の回答が最も多く、「資金繰り確保のための税制優遇や助成金」(33.9%)、「新規事業開発支援」(23.5%)、「災害リスク対策の支援」(23.2%)が続きます。</p>  |
|   | <p>業種別では、製造業で「人材確保のための採用支援」(42.1%)の回答が最も多かったものの、回答率は非製造業(61.2%)を大きく下回っています。次いで、「新事業開発支援」(21.1%)、「移住・定住の促進」(21.1%)などが多く、「移住・定住の促進」は非製造業の回答</p>                                 |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
|   | <p>率を大きく上回っています。</p> <p>非製造業では、「人材確保のための採用支援」(61.2%)の回答が最も多かったほか、「資金繰り確保のための税制優遇や助成金」(34.7%)、「新規事業開発支援」(30.6%)、「災害リスク対策の支援」(28.6%)が上位を占め、製造業の回答率を上回っています。</p> |
| <p><b>2</b> 市民懇話会（フジ6未来創造懇話会）からの提案<br/>～省略～</p> | <p><b>3</b> 市民懇話会（フジ6未来創造懇話会）からの提案<br/>～省略～</p>   |
| <p><b>3</b> 市民や市民団体・業界団体の意見<br/>～省略～</p>        | <p><b>4</b> 市民や市民団体・業界団体の意見<br/>～省略～</p>  |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>II 基本構想</p> <p>第1章 まちづくりの視点<br/>～省略～</p> <p>第2章 めざす都市像<br/>～省略～</p> <p>第3章 <u>施策</u>の大綱<br/>「めざす都市像」を実現するため、基本計画では、7つの基本目標からなる「<u>施策の大綱</u>」に<u>基づいて</u>諸施策を体系化し、着実に実施していきます。<br/>～後略～</p> <p>第4章 めざす都市像の実現に向けて<br/>～前略～</p> <p><b>2</b> デジタル変革を加速する取組<br/>～前略～<br/>様々な<u>社会的課題</u>の解決を図る諸施策の推進にあたり、幅広い分野でのデジタル変革を加速させ、急速に進化するデジタル技術を最大限</p> | <p>II 基本構想</p> <p>第1章 まちづくりの視点（19, 20 ページ）<br/>～省略～</p> <p>第2章 めざす都市像（21 ページ）<br/>～省略～</p> <p>第3章 <u>政策</u>の大綱（22～24 ページ）<br/>「めざす都市像」を実現するため、基本計画では、7つの基本目標からなる「<u>政策の大綱</u>」に<u>基づき</u>諸施策を_____着実に実施していきます。<br/>～後略～</p> <p>第4章 めざす都市像の実現に向けて（25 ページ）<br/>～前略～</p> <p><b>2</b> デジタル変革を加速する取組<br/>～前略～<br/>様々な<u>社会</u>課題の解決を図る諸施策の推進にあたり、幅広い分野でのデジタル変革を加速させ、急速に進化するデジタル技術を最大限</p> |

# 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>活用することで、暮らしの質や価値を高め、安心して豊かなまちづくりを推進します。</p> <p>【イメージ図】<br/>～省略～</p> | <p>活用することで、暮らしの質や価値を高め、安心して豊かなまちづくりを推進します。</p> <p>【イメージ図】<br/>～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>Ⅲ 前期基本計画</p> <p>第1部 総論</p> <p>第1章 計画のフレーム</p> <p>第1節 人口・世帯</p> <p>①人口</p> <p>本市の人口は、平成 22（2010）年をピークに減少に転じ、令和元（2019）年度末の人口は <u>252,605 人</u> であり、第五次富士市総合計画が開始した平成 22（2010）年度末から <u>約 9,000 人</u> 減少しています。死亡数が出生数を上回る自然減と転出者数が転入者数を上回る社会減が人口減少の要因となっていますが、近年は自然減の減少幅が拡大する一方で、社会動態は増加に転じています。</p> <p>～後略～</p> <p>②世帯</p> <p>～省略～</p> <p>第2節 土地利用</p> <p>①～④</p> <p>～省略～</p> | <p>Ⅲ 前期基本計画</p> <p>第1部 総論</p> <p>第1章 計画のフレーム</p> <p>第1節 人口・世帯（27, 28 ページ）</p> <p>①人口</p> <p>本市の人口は、平成 22（2010）年をピークに減少に転じ、令和 2（2020）年度末の人口は <u>251,616 人</u> であり、第五次富士市総合計画が開始した平成 22（2010）年度末から <u>約 10,000 人</u> 減少しています。死亡数が出生数を上回る自然減と転出者数が転入者数を上回る社会減が人口減少の要因となっていますが、近年は自然減の減少幅が拡大する一方で、社会動態は増加に転じています。</p> <p>～後略～</p> <p>②世帯</p> <p>～省略～</p> <p>第2節 土地利用（29～32 ページ）</p> <p>①～④</p> <p>～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p><b>⑤</b>土地利用構想</p> <p><b>地域区分</b> (1)～(4)<br/>～省略～</p> <p><b>ゾーン</b> <b>1</b>～<b>2</b><br/>～省略～</p> <p><b>3</b> 歴史・文化ふれあい交流ゾーン</p> <p>岩本山・_____富士川楽座周辺については、梅や桜の名所であるとともに本市固有の景観を有する岩本山公園及び龍巖淵、地域の貴重な歴史・文化資源である實相寺及び古谿荘等と、交流拠点である_____富士川楽座等を活用した交流基盤づくりを推進します。</p> <p><b>4</b>～<b>9</b><br/>～省略～</p> <p>＜土地利用構想図＞<br/>～省略～</p> <p>第3節 財政</p> <p><b>①</b>財政の推移と予測<br/>～前略～</p> | <p><b>⑤</b>土地利用構想</p> <p><b>地域区分</b> (1)～(4)<br/>～省略～</p> <p><b>ゾーン</b> <b>1</b>～<b>2</b><br/>～省略～</p> <p><b>3</b> 歴史・文化ふれあい交流ゾーン</p> <p>岩本山・<u>道の駅</u>富士川楽座周辺については、梅や桜の名所であるとともに本市固有の景観を有する岩本山公園及び龍巖淵、地域の貴重な歴史・文化資源である實相寺及び古谿荘等と、交流拠点である<u>道の駅</u>富士川楽座等を活用した交流基盤づくりを推進します。</p> <p><b>4</b>～<b>9</b><br/>～省略～</p> <p>＜土地利用構想図＞<br/>～省略～</p> <p>第3節 財政 (33, 34 ページ)</p> <p><b>①</b>財政の推移と予測<br/>～前略～</p> <p>なお、本市では、E S C O事業やP F Iなどの民間活力の活用により、施設や設備等の整備更新を進めていますが、これらの経費は計画</p> |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>②市債の推移と予測<br/>～前略～<br/>なお、本市では、ESCO事業やPFIなどの民間活力の活用により、施設や設備等の整備更新を進めていますが、これらの経費は公債費に準じる経常的な固定費となっています。</p> <p>第2章 めざす都市像の実現に向けた基本姿勢<br/>～前略～<br/>SDGsの理念や考え方とデジタル技術の進展は、今後の社会を大きく変容させる可能性を持つことから、本計画では、「SDGsの活用_____」と「デジタル変革の推進」を基本姿勢とし「めざす都市像」の実現を図ります。</p> <p>第1節 SDGsの活用_____<br/>SDGsの理念に沿って、経済、社会、環境の三側面における取組を推進することにより、政策推進の全体最適化や地域課題の解決の加速化を図るとともに、多様な課題を解決するためのパートナーシップによる連携を強化します。</p> | <p>全体の投資的経費に117億円含まれ、公債費に準じる経常的な固定費となっています。</p> <p>②市債の推移と予測<br/>～前略～</p> <p>第2章 めざす都市像の実現に向けた基本姿勢（35, 36ページ）<br/>～前略～<br/>SDGsの理念や考え方とデジタル技術の進展は、今後の社会を大きく変容させる可能性を持つことから、本計画では、「SDGsの理念の導入」と「デジタル変革の推進」を基本姿勢とし「めざす都市像」の実現を図ります。</p> <p>第1節 SDGsの理念の導入<br/>SDGsの理念に沿った取組を総合的に推進することにより、持続可能な社会を目指します。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>(1) 政策推進の全体最適化<br/>           事業を立案及び実施する際には、SDG s の考え方を<u>用いた発想による行政課題の解決や、経済、社会及び環境の相互的関連を意識し、統合的取組</u>により相乗効果を創出するなど、SDG s の理念や視点を<u>取り入れ、政策推進の</u>最適化を図ります。</p> <p>(2) 地域課題の解決<br/>           SDG s という世界共通のものさしで、<u>地域を俯瞰して見ることにより、</u>本市固有の特徴や<u>長所・短所を再認識し、独自性のある魅力的なまちづくりを進めローカルアイデンティティを強化し、地域課題の解決</u>を図ります。</p> <p>(3) パートナーシップの推進<br/>           SDG s を共通言語とすることにより、<u>グローバルな問題から地域の課題など多様な課題についての共通理解を深め、本市のSDG s 推進の基盤となるプラットフォームを活用し、様々なステークホルダーとの連携を強化し、パートナーシップによる課題解決を図ります。</u></p> <p>第2節 デジタル変革の推進<br/>           ～省略～</p> | <p>(1) 政策推進の全体最適化<br/>           事業を立案及び実施する際に、SDG s の理念や視点を<u>取り入れ、</u>経済、社会及び環境の相互的関連を意識し、<u>統合的に取り組むことにより</u>相乗効果を創出するなど、<u>政策推進の全体最適化</u>を図ります。</p> <p>(2) 地域課題の解決<br/>           SDG s という世界共通のものさしで、<u>地域を俯瞰して見ることにより、経済、社会及び環境の三側面から解決すべき地域課題を把握するとともに、本市固有の特徴や強みを活かし、多角的な視点から</u>地域課題の<u>解決の加速化</u>を図ります。</p> <p>(3) パートナーシップの推進<br/>           SDG s を共通言語とすることにより、<u>グローバルな問題から地域課題まで多様な課題について、企業や市民団体など様々な関係者間の共通理解を深めるとともに、相互の協力関係を広げ、パートナーシップを推進</u>します。</p> <p>第2節 デジタル変革の推進<br/>           ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>第3章 政策の体系</p> <p>～省略～</p> <p>基本目標1     ～省略～</p> <p>基本目標2     政策分野4 社会教育</p> <p>                  施策1 <u>生涯学習活動の推進</u></p> <p>                  政策分野5 市民スポーツ・市民文化</p> <p>                  施策1 <u>スポーツ活動の推進</u></p> <p>基本目標3～4   ～省略～</p> <p>基本目標5     政策分野1 ものづくり産業</p> <p>                  施策3 <u>工業立地の促進</u></p> <p>基本目標6     政策分野3 交流</p> <p>                  施策1 <u>スポーツツーリズムの推進</u></p> <p>基本目標7     ～省略～</p> <p>第4章 重点戦略</p> <p>第1節 重点課題</p> <p>①本市が抱える課題</p> <p>(1) 人口減少対策に取り組む必要性</p> <p>急速な<u>少子高齢化の進行により</u>、地域経済や防災、公共交通、ま<br/>ちの<u>にぎわい等の様々な面において影響があり、現状の社会生活が維持</u><br/><u>できなくなることが予測されています。</u></p> | <p>第3章 政策の体系（37,38 ページ）</p> <p>～省略～</p> <p>基本目標1     ～省略～</p> <p>基本目標2     政策分野4 社会教育</p> <p>                  施策1 <u>多様な学びの場の充実</u></p> <p>                  政策分野5 市民スポーツ・市民文化</p> <p>                  施策1 <u>生涯スポーツの推進</u></p> <p>基本目標3～4   ～省略～</p> <p>基本目標5     政策分野1 ものづくり産業</p> <p>                  施策3 <u>企業立地の促進</u></p> <p>基本目標6     政策分野3 交流</p> <p>                  施策1 <u>スポーツ交流の推進</u></p> <p>基本目標7     ～省略～</p> <p>第4章 重点戦略</p> <p>第1節 重点課題（39,40 ページ）</p> <p>①本市が抱える課題</p> <p>(1) 人口減少対策に取り組む必要性</p> <p>急速な<u>人口減少の進行は</u>_____、地域経済や防災、公共交通、ま<br/>ちの<u>にぎわい等の様々な面において影響を与え、地域の活力を低下させ</u><br/><u>るとともに、人口減少を更に加速化させる可能性があります。</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>本市の人口推移の長期見通しでは、_____このまま人口が推移した場合には、<u>40年後</u>_____の人口は175,522人まで減少し、約100年後には、70,000人を切った<u>後</u>、さらに減少していくと_____見込んでいます。</p> <p>これに対して、_____令和21(2039)年度末までに人口置換水準である<u>2.07</u>まで<u>出生率が回復した場合</u>_____は、令和41(2059)年度末までには20万人程度_____を確保し、令和91(2109)年度前後には、総人口が約16万人程度で定常状態になることを見込んでいます。</p> <p>さらに、<u>人口置換水準への出生率の回復が令和31(2049)年度末になった</u>_____場合には、令和91(2109)年度前後に総人口が約15万人程度で定常状態になると見込んでおり、_____出生率の向上をはじめとする人口減少対策に早期に取り組むことが、<u>将来的な人口の確保に繋がります</u>。</p> <p style="text-align: center;">～グラフ省略～</p> <p><b>② 重点課題の整理</b></p> <p>人口減少による影響や市民からの意見を参考に、_____本市が持続的に発展する好循環を構築するために取り組む重点課題を整理しました。</p> | <p>本市の人口推移の長期的見通し「<u>(推計3)このまま人口が推移した場合</u>」では、<u>令和41(2059)年度末</u>の人口は175,522人まで減少し、約100年後には、70,000人を切った<u>後も</u>さらに減少していく<u>こと</u>を見込んでいます。</p> <p>これに対して、「<u>(推計1)出生率が令和21(2039)年度末までに人口置換水準</u>_____ (2.07)まで_____回復した場合」には、令和41(2059)年度末までに20万人程度<u>の人口</u>を確保でき、令和91(2109)年度前後には、総人口が約16万人程度で定常状態になることを見込んでいます。</p> <p>また、「<u>(推計2)出生率</u>_____が令和31(2049)年度末までに人口置換水準まで回復した場合」には、令和91(2109)年度<u>頃</u>に総人口が約15万人程度で定常状態になると見込んでおり、<u>将来的な人口確保には、出生率の向上をはじめとする人口減少対策に早期に取り組むことが必要となります</u>。_____</p> <p style="text-align: center;">～グラフ省略～</p> <p><b>② 重点課題の整理</b></p> <p>_____市民からの意見を参考に、<u>人口減少の加速化に歯止めをかけ</u>、本市が持続的に発展する好循環を構築するために取り組む重点課題を整理しました。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |
|--|---|
| <p>課題1 自然災害や<u>新たな感染症</u>などへの対策の推進<br/>～省略～</p> <p>課題2 <u>魅力的な就労場所の確保と地域産業の活性化</u><br/>仕事を理由とした移動が多いため、<u>魅力</u><br/><u>ある就労機会の確保や地域産業の活性化</u>が必要です。</p> <p>課題3 結婚、出産、子育てへの不安の解消<br/><u>結婚、出産、子育てに不安を感じている方が多いため、地域全体で</u><br/><u>支援すること</u>が求められています。</p> <p>課題4 将来にわたって生活の質を確保<br/><u>人口減少の進行により、生活インフラ等の確保が難しくなることが</u><br/><u>予想されるため、将来にわたって暮らしやすい環境の維持</u>が求められています。</p> <p>課題5 住む楽しさやまちの<u>魅力の創出</u><br/>まちに<u>魅力を創出し人を呼び込むため、シティプロモーションの推</u><br/><u>進や多様な交流機会の創出</u>が必要です。</p> <p>第2節 <u>5つの重点戦略</u><br/>～省略～</p> <p><b>戦略1</b> 災害等への対策を強化し、安全・安心なまちづくり</p> | <p>課題1 自然災害や<u>_____感染症</u>などへの対策の推進<br/>～省略～</p> <p>課題2 <u>地域産業の活性化と魅力的な就労場所の確保</u><br/><u>安定した市民生活の基盤を確保するため、地域産業の活性化や魅力</u><br/><u>的な就労機会の確保_____</u>が必要です。</p> <p>課題3 結婚、出産、子育てへの不安の解消<br/><u>結婚、出産、子育てへの不安の軽減を図るため、結婚や出産を希望</u><br/><u>する方への支援や、子育てしやすい環境の整備</u>が求められています。</p> <p>課題4 将来にわたって生活の質を確保<br/>将来にわたって市民生活の質を確保するため、<br/><u>_____</u>暮らしやすい環境の維持が求められています。</p> <p>課題5 住む楽しさやまちの<u>魅力の創出</u><br/>まちに<u>魅力を高め、人を呼び込むため、シティプロモーションの推</u><br/><u>進や多様な交流機会の創出</u>が必要です。</p> <p>第2節 <u>課題解決に向けた5つの_____戦略</u>（41～44 ページ）<br/>～省略～</p> <p><b>戦略1</b> 災害等への対策を強化し、安全・安心なまちづくり</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>～前略～</p> <p>このため、<u>激甚化する豪雨・水害などへの対策を強化するなど安全・安心なまちづくりに引き続き取り組む</u></p> <p>_____とともに、今後想定される大規模地震等による被害の軽減を図るほか、_____ <u>新たな感染症の拡大を予防する</u>など、市民や事業者が安心して活動できる社会基盤の強化を目指します。</p> <p>【図】～省略～</p> <p><b>戦略2</b> 活力ある産業が集積し、やりがいを感じるしごとづくり</p> <p>～省略～</p> <p>【図】～省略～</p> <p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ユニバーサル就労の推進</u></li> </ul> <p><b>戦略3</b> ～ <b>戦略4</b></p> <p>～省略～</p> <p><b>戦略5</b> <u>人が集まり</u>、にぎわいと交流を生む魅力づくり</p> <p>多様な人を呼び込み、地域を活性化していくためには、本市の特色などを活かした魅力の向上や _____ 市内外に本市の</p> | <p>～前略～</p> <p>このため、 _____ <u>安全・安心なまちづくりに _____ 取り組み、激甚化する豪雨・水害などへの対策を強化するとともに、今後想定される大規模地震等による被害の軽減を図るほか、<u>防犯まちづくり体制の強化や感染症対策の充実</u></u>など、市民や事業者が安心して活動できる社会基盤の強化を目指します。</p> <p>【図】～省略～</p> <p><b>戦略2</b> 活力ある産業を集積し、やりがいを感じるしごとづくり</p> <p>～省略～</p> <p>【図】～省略～</p> <p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>雇用及び就労への支援</u></li> </ul> <p><b>戦略3</b> ～ <b>戦略4</b></p> <p>～省略～</p> <p><b>戦略5</b> <u>人を呼び込み</u>、にぎわいと交流を生む魅力づくり</p> <p>多様な人を呼び込み、地域を活性化していくためには、本市の特色などを活かし、まちの魅力を向上させるとともに、<u>市内外に積極的に</u></p> |

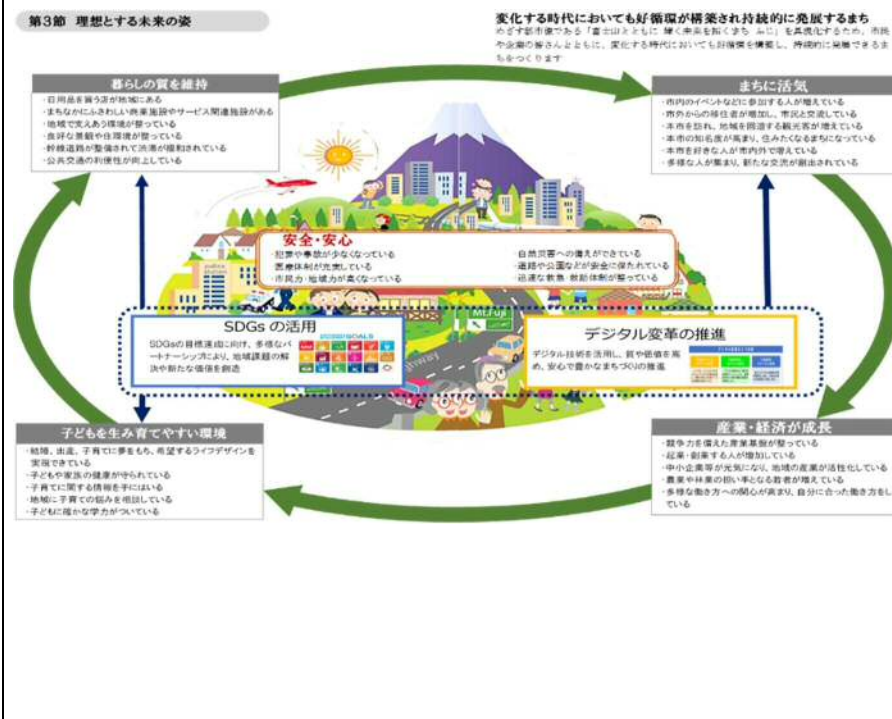
# 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新 |
|---|---|
|---|---|

情報を発信していく必要があります。

このため、本市の\_\_\_\_\_魅力をより一層高めるとともに、シティプロモーションに\_\_\_\_\_による市内外への発信を強化するほか、国内外から人々が集まる機会を創出し、交流人口や定住人口の増加、地域に関わりを持つ関係人口の拡大を目指します。

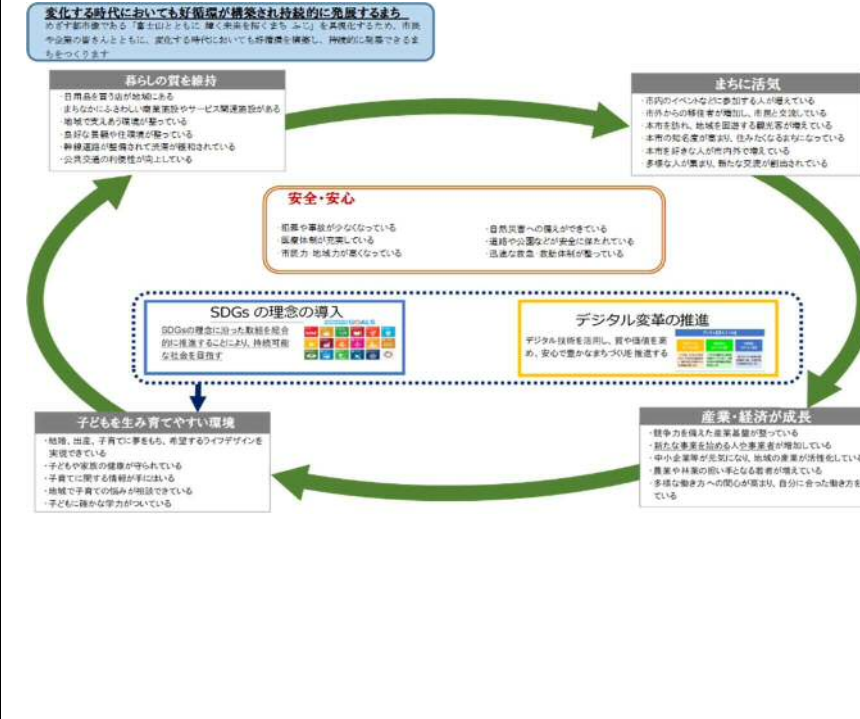
## 第3節 \_\_\_\_\_理想とする未来の姿



情報を発信していく必要があります。

このため、本市の様々な地域資源の魅力をより一層高めるとともに、シティプロモーションの推進による情報発信の強化のほか、国内外から人々が集まる機会の創出を図ります。

## \_\_\_\_\_重点戦略において理想とする未来の姿



# 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

|   |   |
|---|---|
| 旧 | 新 |
|---|---|

## 第2部 各論

### 各論の見方

#### 各論の見方

##### ■将来のまちの姿

政策を推進した結果、本市がどのような姿になっているかを表しています。

##### ■政策分野

基本目標に繋がる政策分野を表しています。

##### ■基本目標

「めざす都市像」を具現化するための7つの基本目標がタイトルになっています。

#### 基本目標1 安心して暮らす守るまち

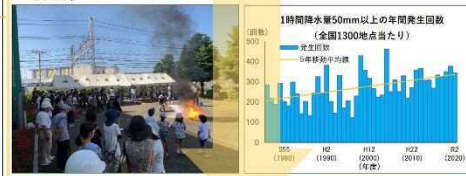
##### 政策分野1 危機管理

###### ■将来のまちの姿

地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまち

###### ■現状と課題

- 1 南海トラフ地震の発生や津波の襲来が想定される中、高齢化の進行や外国人人口の増加など地域の状況が激しく変化しており、その変化に対応するため共助の取組を強化することが求められています。
- 2 近年、局所的な集中豪雨など大規模自然災害が増加し、甚大な被害が発生する恐れがあることから、河川や水路等の総合的な対策を実施するとともに、市民一人ひとりが、災害リスクを把握した避難行動をとることが必要です。
- 3 緊急時の避難情報や支援情報を、誰もが確実に入手できるよう、多様な手段や主体による情報提供の充実が求められているとともに、災害発生時及び復旧期における被災者の支援を強化する必要があります。



###### ■基本方針

- 1 地域の自主防災活動における、協働の取組の充実や、震災時の住宅等の安全性を確保するなど、地産対策の強化を図ります。
- 2 豪雨や台風等による災害リスクの周知を推進するとともに、国や県と連携しながら河川や水路の整備、急傾斜地崩壊対策を推進するなど、豪雨等対策の強化を図ります。
- 3 緊急時の情報提供は、誰にとってもわかりやすい情報となるよう努めるとともに、平常時に災害時の要配慮者を把握し、災害発生時に迅速かつ円滑に支援する体制を強化するなど、危機管理体制の強化を図ります。

###### ■成果指標

地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまちである



##### ■現状と課題

この政策分野の政策を推進する理由となる、本市の現状と課題を表しています。

##### ■基本方針

課題を解決するための基本的な考え方と政策の方向性を表しています。

##### ■成果指標

この政策分野の成果を示す指標であり、総合計画モニタリングのアンケート調査により現状値を把握しました。

## 第2部 各論

### 各論の見方 (47, 48 ページ)

#### 各論の見方

##### ■将来のまちの姿

政策を推進した結果、本市がどのような姿になっているかを表しています。

##### ■政策分野

基本目標に繋がる政策分野を表しています。

##### ■基本目標

「めざす都市像」を具現化するための7つの基本目標がタイトルになっています。

#### 基本目標1 安心して暮らす守るまち

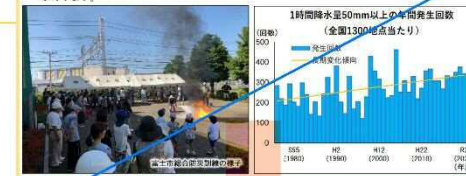
##### 政策分野1 危機管理

###### ■将来のまちの姿

地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまち

###### ■現状と課題

- 1 南海トラフ地震の発生や津波の襲来が想定される中、高齢化の進行や外国人人口の増加など地域の状況が激しく変化しており、その変化に対応するため共助の取組を強化することが求められています。
- 2 近年、局所的な集中豪雨など大規模自然災害が増加し、甚大な被害が発生する恐れがあることから、河川や水路等の総合的な対策を実施するとともに、市民一人ひとりが、災害リスクを把握した避難行動をとることが必要です。
- 3 緊急時の避難情報や支援情報を、誰もが確実に入手できるよう、多様な手段や主体による情報提供の充実が求められているとともに、災害発生時及び復旧期における被災者の支援を強化する必要があります。



###### ■基本方針

- 1 地域の自主防災活動における、協働の取組の充実や、震災時の住宅等の安全性を確保するなど、地産対策の強化を図ります。
- 2 豪雨や台風等による災害リスクの周知を推進するとともに、国や県と連携しながら河川や水路の整備、急傾斜地崩壊対策を推進するなど、豪雨等対策の強化を図ります。
- 3 緊急時の情報提供は、誰にとってもわかりやすい情報となるよう努めるとともに、平常時に災害時の要配慮者を把握し、災害発生時に迅速かつ円滑に支援する体制を強化するなど、危機管理体制の強化を図ります。

###### ■成果指標

地震や風水害などへの備えが充実した 災害に強いまちである



##### ■現状と課題

この政策分野の政策を推進する理由となる、本市の現状と課題を表しています。






##### ■基本方針

課題を解決するための基本的な考え方と政策の方向性を表しています。

「現状と課題」「基本方針」「施策」の各番号が対応しています。



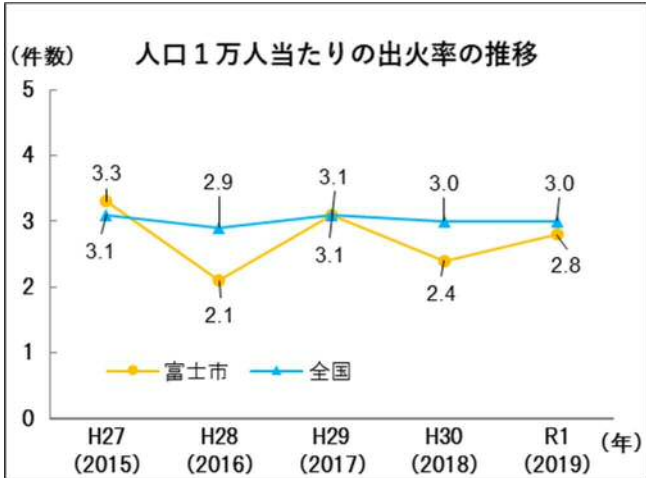
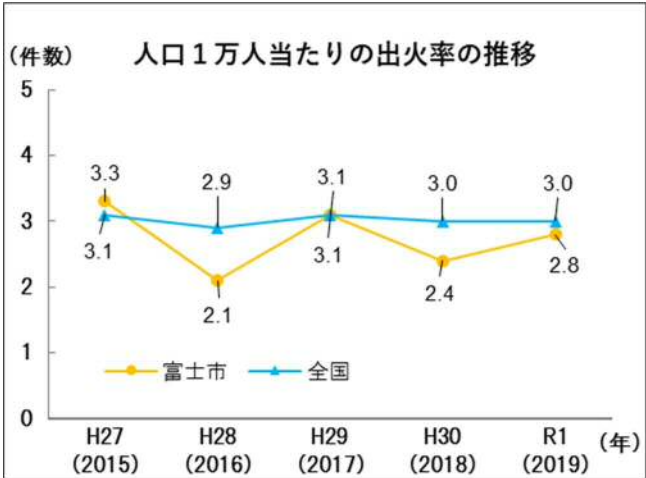
# 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="394 316 607 391"> <p><b>■ 施策</b><br/>基本方針を踏まえた具体的な取組内容を表しています。</p> </div> <div data-bbox="611 316 824 391"> <p><b>《主な構成事業》</b><br/>施策に記載された取組に該当する事務事業を表しています。</p> </div> <div data-bbox="828 316 1041 391"> <p><b>● SDGs アイコン</b><br/>当該施策が寄与するSDGsの17のゴールを表しています。</p> </div> </div> <div data-bbox="394 422 936 1257"> <p><b>■ 施策</b></p> <p><b>1 地震対策の強化</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる人材の育成を図るとともに、事業者や市民団体などの協働による防災活動を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。</li> <li>▶ 防災セミナーや防災出前講座、防災啓発動画などにより防災意識の高揚を図ります。</li> <li>▶ 木造住宅の耐震化や、危険なブロック塀等の撤去・改善を促進し、震災時の被害軽減を図ります。</li> <li>▶ 国や県と連携し、ソフトとハード対策を組み合わせた津波対策や災害に強い港づくりを推進します。</li> </ul> <p><b>《主な構成事業》</b><br/>自主防災組織育成事業、防災訓練事業、プロジェクト「TOUKAI-0」事業、田子の浦港津波対策事業</p> <p><b>2 豪雨等対策の強化</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要河川や水路及び雨水渠等の整備を推進するとともに、排水機場や調整池等の雨水流出抑制施設の充実を図ります。</li> <li>▶ 水防団に対して資材・装備等の支援を行うなど地域の水防力の向上を図ります。</li> <li>▶ 排水設備の事故を未然に防止するため、維持管理にかかる計画を作成します。</li> <li>▶ 国や県と連携し、急傾斜地崩壊対策など砂防施設の整備を推進します。</li> <li>▶ 市民一人ひとりが居住する場所の災害リスクを把握し、避難行動を取れるようハザードマップの活用講座等を実施します。</li> </ul> <p><b>《主な構成事業》</b><br/>富士早川改修事業、水防団活動支援事業、河川機能維持事業、急傾斜地整備事業、防災啓発事業</p> <p><b>3 危機管理体制の強化</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国、県、防災関係機関等との連携体制の強化や民間施設等との災害時応援協定締結を推進するなど、災害時の応援及び受援体制の強化を図ります。</li> <li>▶ 地震や豪雨、富士山噴火等の緊急時における情報収集と共有を図り、同報無線やテレビ、ラジオ、スマートフォン等の多様なメディアを活用した情報発信体制の整備を進めます。</li> <li>▶ 災害時に誰もがトイレで困ることのないよう災害時のトイレ対策の充実を図ります。</li> <li>▶ 福祉施設や地域の支援者と協力し、高齢者など災害時に配慮が必要な人への支援体制を強化します。</li> </ul> <p><b>《主な構成事業》</b><br/>危機管理体制整備事業、災害時協力関係強化事業、防災無線整備事業、要援護者支援事業</p> <p><b>■ 関連計画</b><br/>国土強靱化富士市計画、地域防災計画、国民保護計画、津波避難行動計画、耐震改修促進計画</p> </div> <div data-bbox="504 1268 862 1316"> <p><b>■ 関連計画</b><br/>この政策分野に関連する個別計画を表しています。</p> </div> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="1335 331 1547 406"> <p><b>■ 施策</b><br/>基本方針を踏まえた具体的な取組内容を表しています。</p> </div> <div data-bbox="1552 331 1765 406"> <p><b>《主な取組》</b><br/>施策ごとの具体的な取組内容を表しています。</p> </div> <div data-bbox="1769 331 1982 406"> <p><b>● SDGs アイコン</b><br/>当該施策が寄与するSDGsの17のゴールを表しています。</p> </div> </div> <div data-bbox="1335 422 1877 1257"> <p><b>■ 施策</b></p> <p><b>1 地震対策の強化</b> </p> <p><b>《主な取組》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 自主防災会長や地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる人材の育成を図るとともに、事業者や市民団体などの協働による防災活動を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。</li> <li>▶ 防災セミナーや防災出前講座、防災啓発動画などにより防災意識の高揚を図ります。</li> <li>▶ 木造住宅の耐震化や、危険なブロック塀等の撤去・改善を促進し、震災時の被害軽減を図ります。</li> <li>▶ 国や県と連携し、ソフトとハード対策を組み合わせた津波対策や災害に強い港づくりを推進します。</li> </ul> <p><b>《構成事業》</b><br/>自主防災組織育成事業、プロジェクト「TOUKAI-0」事業、田子の浦港津波対策事業 など</p> <p><b>2 豪雨等対策の強化</b> </p> <p><b>《主な取組》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要河川や水路及び雨水渠等の整備や維持管理を推進するとともに、排水機場や調整池等の雨水流出抑制施設の充実を図ります。</li> <li>▶ 水防団に対して資材・装備等の支援を行うなど地域の水防力の向上を図ります。</li> <li>▶ 国や県と連携し、急傾斜地崩壊対策など砂防施設の整備を推進します。</li> <li>▶ 市民一人ひとりが居住する場所の災害リスクを把握し、避難行動を取れるようハザードマップの活用講座等を実施します。</li> </ul> <p><b>《構成事業》</b><br/>富士早川改修事業、水防団活動支援事業、急傾斜地整備事業、防災啓発事業 など</p> <p><b>3 危機管理体制の強化</b> </p> <p><b>《主な取組》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国、県、防災関係機関等との連携体制の強化や民間施設等との災害時応援協定締結を推進するなど、災害時の応援及び受援体制の強化を図ります。</li> <li>▶ 地震や豪雨、富士山噴火等の緊急時における情報収集と共有を図り、同報無線やテレビ、ラジオ、スマートフォン等の多様なメディアを活用した情報発信体制の整備を進めます。</li> <li>▶ 災害時に誰もがトイレで困ることのないよう災害時のトイレ対策の充実を図ります。</li> <li>▶ 福祉施設や地域の支援者と協力し、高齢者など災害時に配慮が必要な人への支援体制を強化します。</li> </ul> <p><b>《構成事業》</b><br/>危機管理体制整備事業、防災無線整備事業、避難行動要援護者支援事業 など</p> </div> <div data-bbox="1265 1268 1892 1364"> <p><b>■ 成果指標</b><br/>この政策分野の成果を示す指標であり、総合計画モニターへのアンケート調査により現状を把握しました。上段は5を最高評価とした5段階評価の平均点、下段は同じ5段階評価で4,5と回答した総合計画モニターの割合を示しています。目標値は、それに対する令和8年度の値を示しています。</p> </div> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>基本目標 1 安心できる暮らしを守るまち</p> <p>政策分野 1 危機管理</p> <p>■施策</p> <p>1 地震対策の強化</p> <hr/> <p>➤ _____地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる人材の育成を図るとともに、事業者や市民団体などとの協働による防災活動を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。</p> <p>《主な構成事業》</p> <p>自主防災組織育成事業、<u>防災訓練事業</u>、プロジェクト「TOUKAI-0」事業、田子の浦港津波対策事業_____</p> <p>2 豪雨等対策の強化</p> <hr/> <p>➤ 主要河川や水路及び雨水渠等の整備_____を推進するとともに、排水機場や調整池等の雨水流出抑制施設の充実を図ります。</p> <p>➤ <u>排水設備の事故を未然に防止するため、維持管理にかかる計画を作成します。</u></p> <p>《主な構成事業》</p> <p>富士早川改修事業、水防団活動支援事業、<u>河川機能維持事業</u>、急傾斜地整備事業、防災啓発事業_____</p> | <p>基本目標 1 安心できる暮らしを守るまち</p> <p>政策分野 1 危機管理（49, 50 ページ）</p> <p>■施策</p> <p>1 地震対策の強化</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ <u>自主防災会長</u>や地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる人材の育成を図るとともに、事業者や市民団体などとの協働による防災活動を促進するなど、地域防災力の向上を図ります。</p> <p>《____構成事業》</p> <p>自主防災組織育成事業、_____プロジェクト「TOUKAI-0」事業、田子の浦港津波対策事業_など</p> <p>2 豪雨等対策の強化</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 主要河川や水路及び雨水渠等の整備<u>や維持管理</u>を推進するとともに、排水機場や調整池等の雨水流出抑制施設の充実を図ります。</p> <p>➤ _____</p> <p>《____構成事業》</p> <p>富士早川改修事業、水防団活動支援事業、_____急傾斜地整備事業、防災啓発事業_など</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
|--|-----|-----|----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----------|-----|-----|--|---|-----|----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----------|-----|-----|
| <p>3 危機管理体制の強化<br/>                     《主な構成事業》<br/>                     危機管理体制整備事業、<u>災害時協力機関関係強化事業、防災無線整備事業、要援護者支援事業</u></p> <p>政策分野 2 消防・救急・救助<br/>                     ■将来のまちの姿<br/> <u>安全・確実・迅速な消防体制が備わったまち</u></p> <p>■現状と課題<br/>                     1～3 ～省略～</p>  <table border="1"> <caption>人口1万人当たりの出火率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>富士市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>3.3</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>2.1</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>3.1</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>2.4</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> | 年   | 富士市 | 全国 | H27 (2015) | 3.3 | 3.1 | H28 (2016) | 2.1 | 2.9 | H29 (2017) | 3.1 | 3.1 | H30 (2018) | 2.4 | 3.0 | R1 (2019) | 2.8 | 3.0 | <p>3 危機管理体制の強化<br/>                     《__構成事業》<br/>                     危機管理体制整備事業、_____<u>防災無線整備事業、避難行動要支援者支援事業</u> など</p> <p>政策分野 2 消防・救急・救助 (51, 52 ページ)<br/>                     ■将来のまちの姿<br/> <u>迅速で的確な消防・救急・救助体制が備わったまち</u></p> <p>■現状と課題<br/>                     1～3 ～省略～</p>  <table border="1"> <caption>人口1万人当たりの出火率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>富士市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>3.3</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>2.1</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>3.1</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>2.4</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※統計上の最新値は令和元（2019）年</p> | 年 | 富士市 | 全国 | H27 (2015) | 3.3 | 3.1 | H28 (2016) | 2.1 | 2.9 | H29 (2017) | 3.1 | 3.1 | H30 (2018) | 2.4 | 3.0 | R1 (2019) | 2.8 | 3.0 |
| 年  | 富士市 | 全国  |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H27 (2015)   | 3.3 | 3.1 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H28 (2016)   | 2.1 | 2.9 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H29 (2017)   | 3.1 | 3.1 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H30 (2018)   | 2.4 | 3.0 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| R1 (2019)  | 2.8 | 3.0 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| 年  | 富士市 | 全国  |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H27 (2015)   | 3.3 | 3.1 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H28 (2016)   | 2.1 | 2.9 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H29 (2017)   | 3.1 | 3.1 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H30 (2018)   | 2.4 | 3.0 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| R1 (2019)  | 2.8 | 3.0 |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |  |   |     |    |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |

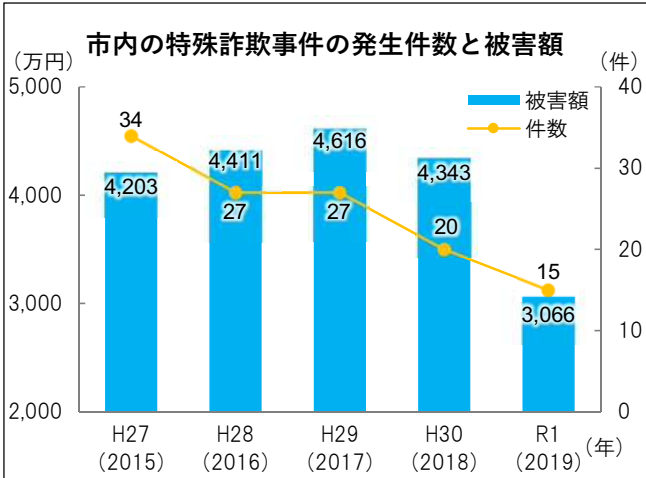
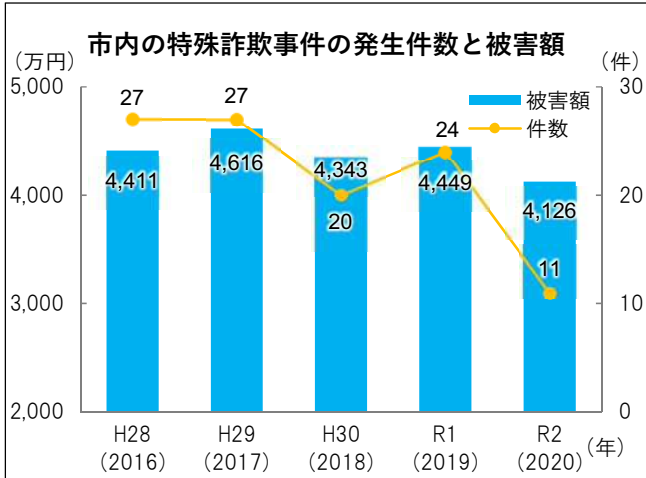
「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新      |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
|--|--------|----|------------|-------|------------|-------|------------|--------|-----------|--------|-----------|-------|---|
| <div data-bbox="340 288 987 767" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>救急出場件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>9,674</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>9,672</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>10,218</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>10,265</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>9,293</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="215 794 360 826" data-label="Section-Header"> <p>■成果指標</p> </div> <div data-bbox="315 850 983 887" data-label="Text"> <p><b>安全・確実・迅速な消防体制 が備わったまちである</b></p> </div> <div data-bbox="215 944 309 978" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="215 997 716 1031" data-label="Text"> <p>1 消防体制の強化及び施設等の充実</p> </div> <div data-bbox="221 1050 439 1086" data-label="Text"> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> </div> <div data-bbox="208 1102 1113 1193" data-label="Text"> <p>消防庁舎整備事業、地震対策消防水利整備事業、<u>消防車両・資機材管理事業</u>、<u>消防団組織運営事業</u>_____</p> </div> <div data-bbox="215 1211 483 1244" data-label="Text"> <p>2 火災予防の促進</p> </div> <div data-bbox="208 1316 974 1407" data-label="Text"> <p>➤ <u>社会福祉施設の防火管理体制指導マニュアルに基づき</u><br/>_____訓練指導を実施します。</p> </div> | 年      | 件数 | H28 (2016) | 9,674 | H29 (2017) | 9,672 | H30 (2018) | 10,218 | R1 (2019) | 10,265 | R2 (2020) | 9,293 | <div data-bbox="1258 292 1904 772" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1120 794 1265 826" data-label="Section-Header"> <p>■成果指標</p> </div> <div data-bbox="1205 850 1912 887" data-label="Text"> <p><b>迅速で的確な消防・救急・救助体制が備わったまちである</b></p> </div> <div data-bbox="1120 944 1214 978" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="1120 997 1626 1031" data-label="Text"> <p>1 消防体制の強化及び施設等の充実</p> </div> <div data-bbox="1126 1050 1346 1086" data-label="Text"> <p>《<u>___構成事業</u>》</p> </div> <div data-bbox="1120 1102 2024 1193" data-label="Text"> <p>消防庁舎整備事業、地震対策消防水利整備事業、<u>_____消防団組織運営事業</u>など</p> </div> <div data-bbox="1120 1211 1391 1244" data-label="Text"> <p>2 火災予防の促進</p> </div> <div data-bbox="1126 1264 1294 1299" data-label="Text"> <p>《<u>主な取組</u>》</p> </div> <div data-bbox="1120 1316 2033 1407" data-label="Text"> <p>➤ <u>社会福祉事業者や企業等の施設における防火管理体制マニュアルに基づく</u>訓練指導を実施します。</p> </div> |
| 年  | 件数     |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
| H28 (2016)   | 9,674  |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
| H29 (2017)   | 9,672  |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
| H30 (2018)   | 10,218 |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
| R1 (2019)  | 10,265 |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |
| R2 (2020)  | 9,293  |    |            |       |            |       |            |        |           |        |           |       |   |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>《主な構成事業》</p> <p>火災予防査察事業、危険物製造所等設置事業、消防訓練指導事業</p> <p>—</p> <p>3 救急・救助活動の充実・強化</p> <p>_____</p> <p>救急体制強化事業、救急普及啓発事業、救助技術推進事業、遭難対策事業_____</p> <p>政策分野3 市民安全</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 <u>子どもや女性、高齢者などが犯罪の被害に遭わないよう防犯意識の高揚を図る必要があるとともに、防犯意識の高揚を図る必要があるとともに、インターネットの普及により違法薬物を入手しやすい環境があることから、違法薬物の乱用防止に向けた啓発の強化が必要です。</u></p> <p>2～3 ～省略～</p> | <p>《構成事業》</p> <p>火災予防査察事業、危険物製造所等設置事業、消防訓練指導事業 <u>など</u></p> <p>3 救急・救助活動の充実・強化</p> <p>《_____構成事業》</p> <p>救急体制強化事業、救急普及啓発事業、救助技術推進事業、遭難対策事業 <u>など</u></p> <p>政策分野3 市民安全（53, 54 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 <u>日常生活の中で、特殊詐欺や空き巣、車上ねらいなどの犯罪に遭う可能性はすべての市民にあるため、防犯意識の高揚を図る必要があるとともに、インターネットの普及により違法薬物を入手しやすい環境があることから、違法薬物の乱用防止に向けた啓発の強化が必要です。</u></p> <p>2～3 ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新        |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
|---|----------|----------|--------|------------|-------|----|------------|-------|----|------------|-------|----|------------|-------|----|-----------|-------|----|--|---|----------|--------|------------|-------|----|------------|-------|----|------------|-------|----|-----------|-------|----|-----------|-------|----|
|  <p style="text-align: center;"><b>市内の特殊詐欺事件の発生件数と被害額</b></p> <table border="1"> <caption>市内の特殊詐欺事件の発生件数と被害額 (旧)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>被害額 (万円)</th> <th>件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>4,203</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>4,411</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>4,616</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>4,343</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>3,066</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防犯まちづくりの強化</li> </ol> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯パトロールや防犯講座を通じ、市民や事業者等 _____ との協働による安全なまちづくりを推進します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策の推進</li> </ol> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全推進団体や警察等と連携した _____ 交通事故防止の街頭啓発を実施します。</li> <li>交通安全関係団体や警察・市民等と協働し、交通安全教室や高校生 _____ の自転車マナー街頭指導などの交通安全運動を実施します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>～省略～</li> </ol> | 年        | 被害額 (万円) | 件数 (件) | H27 (2015) | 4,203 | 34 | H28 (2016) | 4,411 | 27 | H29 (2017) | 4,616 | 27 | H30 (2018) | 4,343 | 20 | R1 (2019) | 3,066 | 15 |  <p style="text-align: center;"><b>市内の特殊詐欺事件の発生件数と被害額</b></p> <table border="1"> <caption>市内の特殊詐欺事件の発生件数と被害額 (新)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>被害額 (万円)</th> <th>件数 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>4,411</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>4,616</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>4,343</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>4,449</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>4,126</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防犯まちづくりの強化</li> </ol> <p>《主な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不審者情報のメール配信や防犯パトロール、防犯講座を通じ、市民や事業者、学校等との協働による安全なまちづくりを推進します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>交通安全対策の推進</li> </ol> <p>《主な取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全推進団体や警察等と連携し、飲酒運転防止意識の向上など交通事故防止の街頭啓発を実施します。</li> <li>交通安全関係団体や警察・市民等と協働し、交通安全教室や高校生等の自転車マナー街頭指導などの交通安全運動を実施します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>～省略～</li> </ol> | 年 | 被害額 (万円) | 件数 (件) | H28 (2016) | 4,411 | 27 | H29 (2017) | 4,616 | 27 | H30 (2018) | 4,343 | 20 | R1 (2019) | 4,449 | 24 | R2 (2020) | 4,126 | 11 |
| 年   | 被害額 (万円) | 件数 (件)   |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H27 (2015)  | 4,203    | 34       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H28 (2016)  | 4,411    | 27       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H29 (2017)  | 4,616    | 27       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H30 (2018)  | 4,343    | 20       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| R1 (2019)   | 3,066    | 15       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| 年   | 被害額 (万円) | 件数 (件)   |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H28 (2016)  | 4,411    | 27       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H29 (2017)  | 4,616    | 27       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| H30 (2018)  | 4,343    | 20       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| R1 (2019)   | 4,449    | 24       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |
| R2 (2020)   | 4,126    | 11       |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |  |   |          |        |            |       |    |            |       |    |            |       |    |           |       |    |           |       |    |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>政策分野4 市民活躍</p> <p>■基本方針</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 性別にとらわれず家庭や社会で活躍できるよう、ワーク・ライフ・バランスの確保を促進するほか、<u>LGBTなどの</u> _____セクシュアル・マイノリティや外国人などの多様性を尊重し、 _____<br/>_____男女共同参画の推進を図ります。</p> <p>3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 地区まちづくり活動の推進<br/>《<u>主な構成事業</u>》<br/>地域自治振興事業、コミュニティづくり推進事業、まちづくりセンター施設整備事業 _____</p> <p>2 男女共同参画の推進<br/>《<u>主な構成事業</u>》<br/>男女共同参画推進事業、<u>男女共同参画普及啓発事業</u>、男女共同参画センター事業、女性の社会参加自立支援事業</p> <p>3 多文化共生の推進<br/>_____</p> <p>➤ <u>日本語学習支援</u>、やさしい日本語の普及啓発に関する取組などに</p> | <p>政策分野4 市民活躍（55,56 ページ）</p> <p>■基本方針</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 性別にとらわれず家庭や社会で活躍できるよう、ワーク・ライフ・バランスの確保を促進するほか、 _____セクシュアル・マイノリティや外国人などの多様性を尊重し、<u>ジェンダー平等の理念を踏まえ</u>、男女共同参画の推進を図ります。</p> <p>3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 地区まちづくり活動の推進<br/>《<u>_____構成事業</u>》<br/>地域自治振興事業、コミュニティづくり推進事業、まちづくりセンター施設整備事業 <u>など</u></p> <p>2 男女共同参画の推進<br/>《<u>_____構成事業</u>》<br/>男女共同参画推進事業、 _____男女共同参画センター事業、女性の社会参加自立支援事業 <u>など</u></p> <p>3 多文化共生の推進<br/>《<u>主な取組</u>》<br/>_____</p> <p>➤ <u>やさしい日本語の普及啓発</u>や日本語学習支援、日本語ボランティア</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>より、多文化共生を担う人材の育成や発掘を行います。</p> <hr/> <p>—</p> | <p>ア養成などの取組により、日本人・外国人相互のコミュニケーション能力の向上や、多文化共生を担う人材の発掘・育成を図ります。</p> |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>基本目標 2 次代を担うひとを育むまち</p> <p>政策分野 1 子育て</p> <p>■施策</p> <p>1 切れ目のない子育て支援の充実</p> <hr/> <p>➤ <u>子育て支援アプリを運用するなど</u>、子育てに関する情報を積極的に発信します。</p> <p>《主な構成事業》</p> <p>妊娠・子育て相談事業、妊産婦支援事業、家庭支援事業、児童手当支給事業、不妊・不育事業_____</p> <p>2 子育てしやすい環境の整備</p> <p>《主な構成事業》</p> <p><u>保育士等管理事業、保育園等入園事務事業、放課後児童クラブ運営委託事業</u>_____</p> <p>3 子どもと家族の健康の保持・増進</p> <p>《主な構成事業》</p> <p>乳幼児保健事業、妊産婦保健事業、母子訪問指導事業、<u>思春期保健事業</u>、<u>母子歯科保健事業</u>_____</p> | <p>基本目標 2 次代を担うひとを育むまち</p> <p>政策分野 1 子育て (57, 58 ページ)</p> <p>■施策</p> <p>1 切れ目のない子育て支援の充実</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ <u>SNS等を活用し</u>_____、子育てに関する情報を積極的に発信します。</p> <p>《____構成事業》</p> <p>妊娠・子育て相談事業、妊産婦支援事業、家庭支援事業、児童手当支給事業、不妊・不育事業<u>など</u></p> <p>2 子育てしやすい環境の整備</p> <p>《____構成事業》</p> <p><u>幼稚園教職員研修事業、公立教育・保育施設再編事業、幼稚園・保育園長寿命化事業</u> など</p> <p>3 子どもと家族の健康の保持・増進</p> <p>《____構成事業》</p> <p>乳幼児保健事業、妊産婦保健事業、母子訪問指導事業、_____<br/>____<u>母子歯科保健事業</u> など</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
|--|---|----|----------|------------|-----|------------|-----|------------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
| <p>政策分野2 子ども・若者</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 すべての子どもが健やかに自分らしく成長できるまちを実現するため、家族形態の変化や家庭環境の複雑化を背景に様々な事情で配慮が必要な子どもや家庭への支援を行うとともに、社会全体で子どもたちを支援する体制づくりが求められています。</p> <p>2～3 ～省略～</p>  | <p>政策分野2 子ども・若者（59,60 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 _____<br/>           _____家族形態の変化や家庭環境の複雑化を背景に様々な事情で配慮が必要な子どもが増加していることから____、社会全体で子どもたちを支援する体制づくりが求められています。</p> <p>2～3 ～省略～</p>  <table border="1"> <caption>療育相談室年度別登録児数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録児数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>705</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>714</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>773</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>785</td> </tr> </tbody> </table> | 年度 | 登録児数 (人) | H28 (2016) | 760 | H29 (2017) | 705 | H30 (2018) | 714 | R1 (2019) | 773 | R2 (2020) | 785 |
| 年度   | 登録児数 (人)  |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
| H28 (2016)   | 760   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
| H29 (2017)   | 705   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
| H30 (2018)   | 714   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
| R1 (2019)  | 773   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |
| R2 (2020)  | 785   |    |          |            |     |            |     |            |     |           |     |           |     |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新            |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
|--|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-----|------------|-----|------------|-----|-----------|-----|---|------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------|------|------|-----|-----|------|--------|------|------|------|------|------|--------|-----|----|-----|-----|---|
| <div data-bbox="338 320 987 799" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>若者相談窓口の新規面談件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="215 879 365 911" data-label="Section-Header"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="215 932 1115 1126" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの権利を保障し、すべての子どもが安心して自分らしく生きることが <u>できる体制・環境づくりを進め</u>、子どもの健やかな成長への支援を図ります。</li> <li>2～3 ～省略～</li> </ol> </div> <div data-bbox="215 1201 306 1233" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="215 1254 672 1287" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの健やかな成長への支援</li> </ol> </div> <div data-bbox="215 1361 1115 1396" data-label="Text"> <p>➤ サポート員等を配置し、<u>公立幼稚園・保育園</u>などにおける障害を</p> </div> | 年度           | 件数           | H27 (2015)   | 159         | H28 (2016)  | 131 | H29 (2017) | 141 | H30 (2018) | 134 | R1 (2019) | 114 | <div data-bbox="1240 320 1890 799" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>5歳階級別社会増減数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>H28年度 (2016)</th> <th>H29年度 (2017)</th> <th>H30年度 (2018)</th> <th>R1年度 (2019)</th> <th>R2年度 (2020)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15-19歳</td> <td>-100</td> <td>-120</td> <td>-80</td> <td>-50</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td>20-24歳</td> <td>-150</td> <td>-100</td> <td>-120</td> <td>-150</td> <td>-250</td> </tr> <tr> <td>20-25歳</td> <td>-20</td> <td>20</td> <td>120</td> <td>130</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1122 879 1272 911" data-label="Section-Header"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="1122 932 2022 1126" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの権利を保障し、すべての子どもが安心して自分らしく生き、<u>自立した社会性のある大人に成長できる体制・環境づくりを進め</u>、子どもの健やかな成長への支援を図ります。</li> <li>2～3 ～省略～</li> </ol> </div> <div data-bbox="1122 1201 1214 1233" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="1122 1254 1581 1287" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの健やかな成長への支援</li> </ol> </div> <div data-bbox="1122 1307 1292 1342" data-label="Section-Header"> <p>《主な取組》</p> </div> <div data-bbox="1122 1361 2022 1396" data-label="Text"> <p>➤ _____ <u>幼稚園・保育園</u>などにおける障害を</p> </div> | 年齢階級 | H28年度 (2016) | H29年度 (2017) | H30年度 (2018) | R1年度 (2019) | R2年度 (2020) | 15-19歳 | -100 | -120 | -80 | -50 | -100 | 20-24歳 | -150 | -100 | -120 | -150 | -250 | 20-25歳 | -20 | 20 | 120 | 130 | 0 |
| 年度   | 件数           |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| H27 (2015)   | 159          |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| H28 (2016)   | 131          |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| H29 (2017)   | 141          |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| H30 (2018)   | 134          |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| R1 (2019)  | 114          |              |              |             |             |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| 年齢階級   | H28年度 (2016) | H29年度 (2017) | H30年度 (2018) | R1年度 (2019) | R2年度 (2020) |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| 15-19歳   | -100         | -120         | -80          | -50         | -100        |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| 20-24歳   | -150         | -100         | -120         | -150        | -250        |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |
| 20-25歳   | -20          | 20           | 120          | 130         | 0           |     |            |     |            |     |           |     |   |      |              |              |              |             |             |        |      |      |     |     |      |        |      |      |      |      |      |        |     |    |     |     |   |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

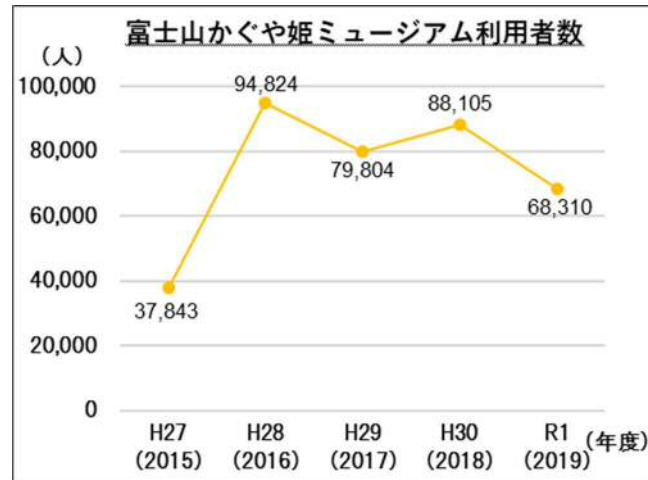
| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>持つ児童の受入体制_____の充実を図ります。</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p>子ども・子育て支援事業計画推進事業、<u>家庭支援事業</u>、<u>療育相談室</u><br/>発達相談事業_____</p> <p>政策分野3 学校教育</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 急速に進む国際化・情報化を見据え、児童生徒一人ひとりの特性<br/>や多様性(国籍・障害・LGBT等)を認める教育を推進するため、<br/>時代の変化に対応できる児童生徒と教職員の育成が求められてい<br/>ます。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <p style="text-align: center;">～グラフ省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 自立し生きる力をもつ児童生徒の育成</p> <hr/> <p>➤ <u>体験活動やコミュニケーション活動を重視し、表現する環境を積<br/>極的に設定し、児童生徒の言語能力を育みます。</u></p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> | <p>持つ児童の受入体制<u>及び支援</u>の充実を図ります。</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p>子ども・子育て支援事業計画推進事業、<u>母子支援事業</u>、<u>療育相談室</u><br/>発達相談事業<u>_____など</u></p> <p>政策分野3 学校教育 (61, 62 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 急速に進む国際化・情報化を見据え、児童生徒一人ひとりの特性<br/>や多様性_____を認める教育を推進するため、<br/>時代の変化に対応できる児童生徒と教職員の育成が求められてい<br/>ます。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <p style="text-align: center;">～グラフ省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 自立し生きる力をもつ児童生徒の育成</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ <u>体験活動や協働的な学びの場等を適切に設け、児童生徒のコミュ<br/>ニケーション能力や問題解決能力_____を育みます。</u></p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>教育研究事業、<u>学習支援事業</u>、特別支援教育充実事業、<u>教職員研修運営事業</u></p> <p>2 教育の質の向上及び環境整備</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p>_____、<u>教育政策推進事業</u>、<u>小中学校施設管理事業</u>、<u>教育構想策定事業</u></p> <p>3 魅力ある市立高校づくりの推進</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p><u>高等学校教育推進事業</u>、<u>高等学校運営管理事業</u>、<u>高等学校施設管理事業</u></p> <p>政策分野4 社会教育</p> <p>■現状と課題</p> <p>～省略～</p> | <p>教育研究事業、<u>生き方支援事業</u>、特別支援教育充実事業、<u>小中学校教職員人事管理事業</u> など</p> <p>2 教育の質の向上及び環境整備</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p><u>学習支援事業</u>、<u>教育政策推進事業</u>、<u>小中学校維持改修事業</u>、<u>教育構想策定事業</u></p> <p>3 魅力ある市立高校づくりの推進</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p><u>高等学校教育推進事業</u>、<u>高等学校運営管理事業</u>_____</p> <p>—</p> <p>政策分野4 社会教育（63, 64 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新 |
|---|---|
|---|---|



■ 基本方針

1 市民や大学等と連携した多様な 学びの機会の提供や地域

■ 基本方針

1 家庭・地域・学校等と連携し、市民への学びの機会の提供や地域



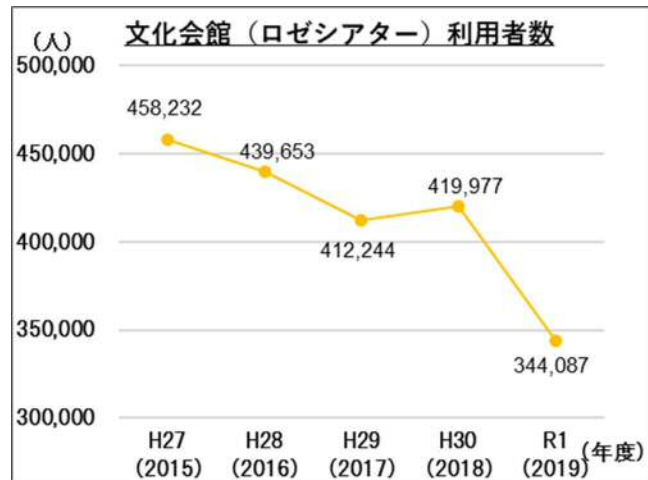
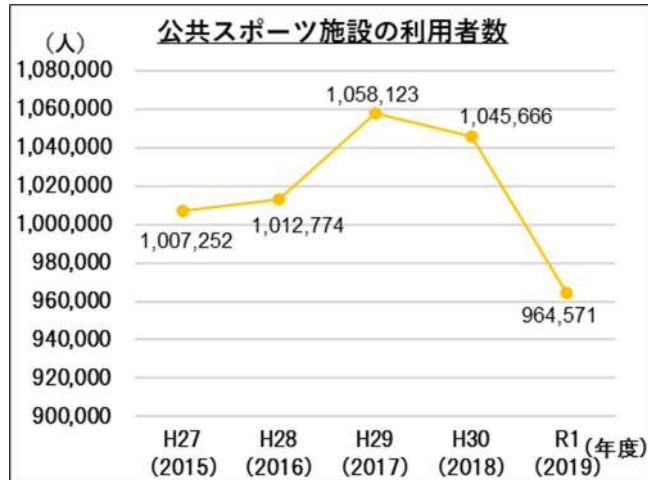
「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新 |
|---|---|
|---|---|

政策分野5 市民スポーツ・市民文化

■現状と課題

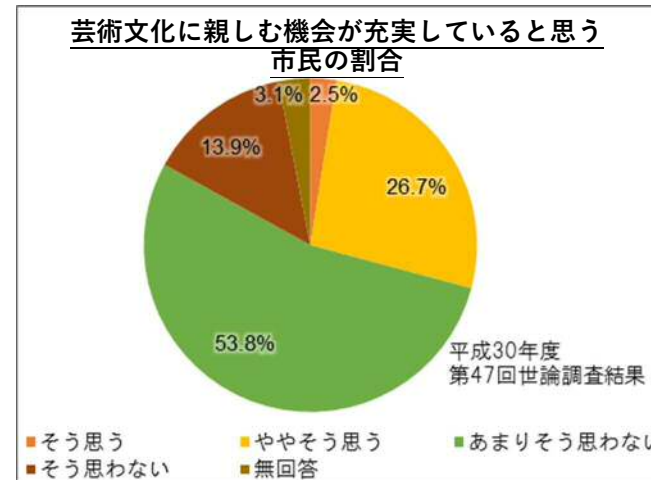
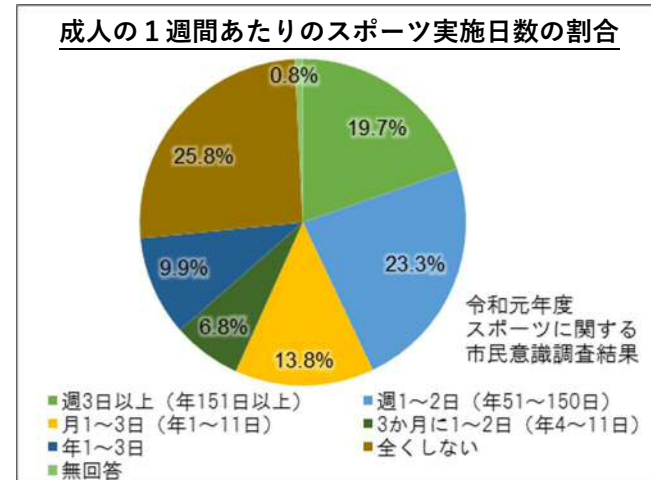
1～3 省略



政策分野5 市民スポーツ・市民文化（65, 66 ページ）

■現状と課題

1～3 省略





「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

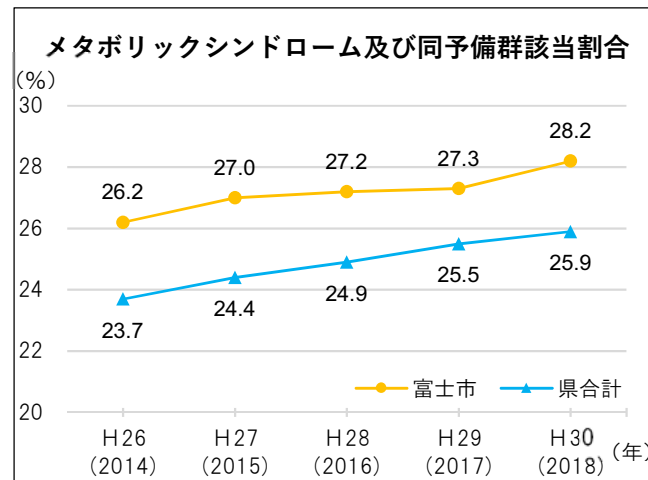
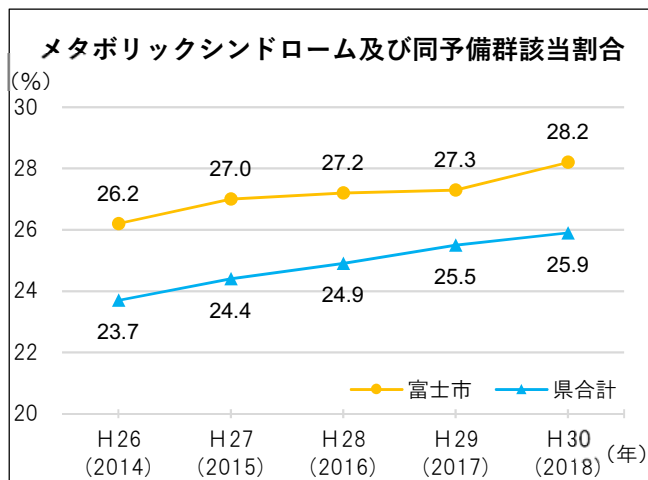
| 旧  | 新   |
|--|---|
| <p>■基本方針</p> <p>1 ライフスタイルに合わせ、身近なところで気軽にスポーツに参加できる機会・情報の提供や、スポーツを支える多様な人材の発掘と育成などにより、<u>スポーツ活動の推進</u>を図ります。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 <u>スポーツ活動の推進</u></p> <hr/> <p>➤ <u>市民の幅広いニーズに適切に対応できるよう、スポーツ指導者養成のための講習会を開催します。</u></p> <p>2 文化芸術活動の振興</p> <hr/> <p>➤ <u>公募展や文化祭の開催など、市民が気軽に文化芸術活動に参加する機会を創出します。</u></p> <p>3 スポーツ・文化環境の充実</p> <hr/> <p><u>スポーツ環境の拠点的役割を担い、競技スポーツと生涯スポーツが両立する多機能型の総合体育館を建設します。</u></p> | <p>■基本方針</p> <p>1 ライフスタイルに合わせ、身近なところで気軽にスポーツに参加できる機会・情報の提供や、スポーツを支える多様な人材の発掘と育成などにより、<u>生涯スポーツの推進</u>を図ります。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 <u>生涯スポーツの推進</u></p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ <u>市民の幅広いニーズに適切に対応できるよう、スポーツ指導者の育成や総合型地域スポーツクラブ等との連携を図ります。</u></p> <p>2 文化芸術活動の振興</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ <u>新たな文化芸術の創造や若手芸術家の育成を進めるとともに、公募展や文化祭の開催など、多くの市民が多様な文化芸術活動に参加する機会を創出します。</u></p> <p>3 スポーツ・文化環境の充実</p> <p>《主な取組》</p> <p><u>各種競技大会やスポーツ教室等が実施でき、市民スポーツの推進を図ることができる総合体育館を建設します。</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

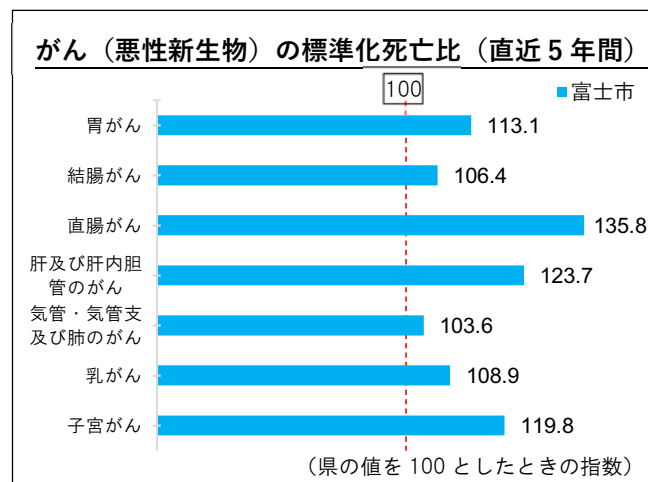
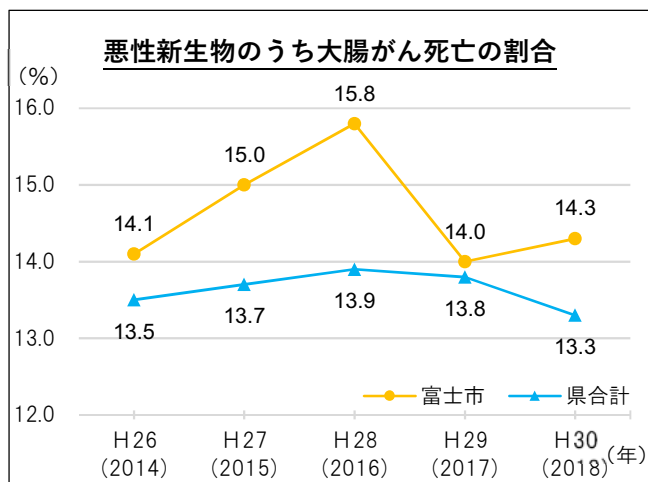
| 旧  | 新   |
|--|---|
| <p>基本目標3 支え合い健やかに過ごせるまち</p> <p>政策分野1 保健</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 高齢化の進行やライフスタイルの変化に伴い生活習慣病<u>が増加しているため、だれもが元気に活躍できるよう、地域や事業所等との連携を強化し、生涯を通じた健やかな生活習慣を形成</u><br/><u>することが求められています。</u></p> <p>2 <u>特定健診の結果において、生活習慣病と関係の深い肥満者の割合や、がんの標準化死亡比が、県に比べ高いことが特徴であることから、特定健診受診をきっかけとした生活習慣病の発症予防や早期発見、重症化予防を推進するとともに、がんの早期発見のための対策を強化する</u><br/><u>必要があります。</u></p> | <p>基本目標3 支え合い健やかに過ごせるまち</p> <p>政策分野1 保健（67, 68 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 高齢化の進行やライフスタイルの変化に伴い生活習慣病<u>や心の病</u><br/><u>が増加しているため、だれもが元気に活躍できるよう、地域や事業所等との連携を強化し、生涯を通じた健やかな生活習慣の形成や心身の健康づくりを推進</u>することが求められています。</p> <p>2 <u>生活習慣病と関係の深い肥満者の割合や、がんの標準化死亡比が、県に比べ高い</u>ことから、<u>生活習慣病の発症予防、早期発見、重症化予防の推進や</u>、<u>がんの早期発見を図る取組の強化が求められているほか、感染症の流行に対して適切に対策を行う</u>必要があります。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

|   |   |
|---|---|
| 旧 | 新 |
|---|---|



※統計上の最新値は平成 30 (2018) 年



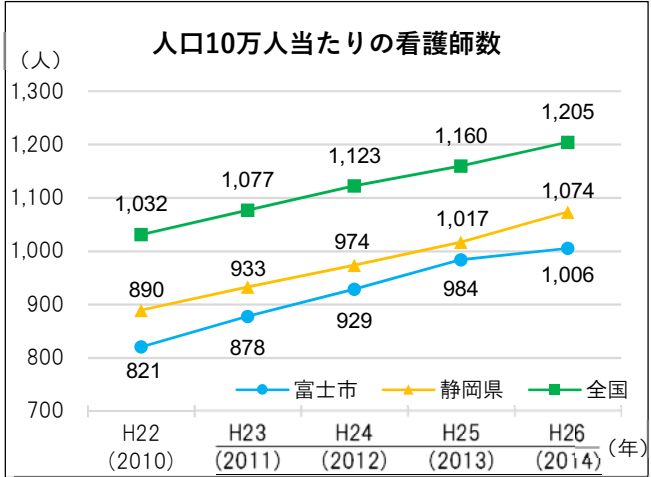
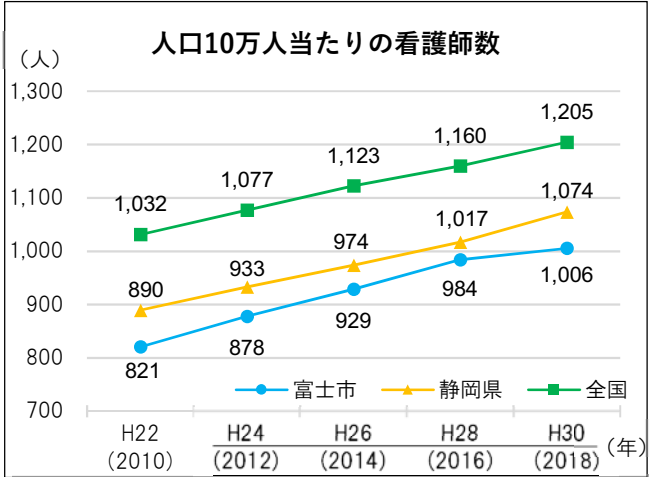
※統計上の最新値は平成 26 (2014) ～30 (2018) 年の 5 年間



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>▶ 生活習慣病の発症リスクが高い市民をデータ分析により明確にすることにより、<u>早期発見に繋げ</u>、重症化予防に向けた保健指導を行います。</p> <p>▶ 感染のおそれがある疾病の発生とまん延を予防するための予防接種事業を<u>推進</u>します。</p> <p>▶ <u>ジェネリック医薬品の利用促進や</u> _____ <u>医療費通知を活用した重複多受診者に対する適正受診の啓発などにより、医療費適正化等を推進し、国民健康保険事業の健全運営に努めます。</u></p> <p>《<u>主な構成事業</u>》<br/> <u>がん検診推進事業、結核健康診断推進事業、</u> _____ <u>国保健康推進事業、後期高齢者保健事業</u></p> <p>政策分野 2 医療<br/> <b>■現状と課題</b><br/>           1～2 ～省略～</p> | <p>▶ 生活習慣病の発症リスクが高い市民をデータ分析により<u>明確化</u>し、生活習慣病の<u>早期発見に繋げるとともに</u>、重症化予防に向けた保健指導を行います。</p> <p>▶ 感染のおそれがある疾病の発生とまん延を予防するための予防接種事業を<u>推進</u>するとともに、<u>感染症予防に関する正しい知識の普及を図ります。</u></p> <p>▶ <u>国民健康保険被保険者を対象に、特定健診受診率の向上や生活習慣の改善に向けて働きかけるとともに、医療費通知を活用した重複多受診者に対する適正受診の啓発などにより、医療費適正化等を推進</u>します。</p> <p>《<u>構成事業</u>》<br/> <u>がん検診推進事業、予防接種推進事業、特定感染症対策事業、国保健康推進事業</u> _____ <u>など</u></p> <p>政策分野 2 医療 (69, 70 ページ)<br/> <b>■現状と課題</b><br/>           1～2 ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
|--|---|-------|-------|----|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-------|-------|------------|-------|-------|-------|--|---|-----|-----|----|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-----|-------|------------|-----|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
|  <p><b>人口10万人当たりの看護師数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>富士市</th> <th>静岡県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22 (2010)</td> <td>821</td> <td>890</td> <td>1,032</td> </tr> <tr> <td>H23 (2011)</td> <td>878</td> <td>933</td> <td>1,077</td> </tr> <tr> <td>H24 (2012)</td> <td>929</td> <td>974</td> <td>1,123</td> </tr> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>984</td> <td>1,017</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>1,006</td> <td>1,074</td> <td>1,205</td> </tr> </tbody> </table> | 年   | 富士市   | 静岡県   | 全国 | H22 (2010) | 821 | 890 | 1,032 | H23 (2011) | 878 | 933 | 1,077 | H24 (2012) | 929 | 974 | 1,123 | H25 (2013) | 984 | 1,017 | 1,160 | H26 (2014) | 1,006 | 1,074 | 1,205 |  <p><b>人口10万人当たりの看護師数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>富士市</th> <th>静岡県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22 (2010)</td> <td>821</td> <td>890</td> <td>1,032</td> </tr> <tr> <td>H24 (2012)</td> <td>878</td> <td>933</td> <td>1,077</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>929</td> <td>974</td> <td>1,123</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>984</td> <td>1,017</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>1,006</td> <td>1,074</td> <td>1,205</td> </tr> </tbody> </table> <p>※統計上の最新値は平成30(2018)年</p> | 年 | 富士市 | 静岡県 | 全国 | H22 (2010) | 821 | 890 | 1,032 | H24 (2012) | 878 | 933 | 1,077 | H26 (2014) | 929 | 974 | 1,123 | H28 (2016) | 984 | 1,017 | 1,160 | H30 (2018) | 1,006 | 1,074 | 1,205 |
| 年  | 富士市   | 静岡県   | 全国    |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H22 (2010)   | 821   | 890   | 1,032 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H23 (2011)   | 878   | 933   | 1,077 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H24 (2012)   | 929   | 974   | 1,123 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H25 (2013)   | 984   | 1,017 | 1,160 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H26 (2014)   | 1,006   | 1,074 | 1,205 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| 年  | 富士市   | 静岡県   | 全国    |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H22 (2010)   | 821   | 890   | 1,032 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H24 (2012)   | 878   | 933   | 1,077 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H26 (2014)   | 929   | 974   | 1,123 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H28 (2016)   | 984   | 1,017 | 1,160 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| H30 (2018)   | 1,006   | 1,074 | 1,205 |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| <p>■基本方針</p>   | <p>■基本方針</p>  |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| <p>1 医療機関同士の連携を適切に進めるとともに、急病時に安心して医療を受けられる救急医療体制を確保し、地域完結型医療の推進を図ります。</p>  | <p>1 地域医療体制の充実や感染症対策の強化に向け、医療機関同士の連携を適切に進めるとともに、急病時に安心して医療を受けられる救急医療体制を確保し、地域完結型医療の推進を図ります。</p> |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| <p>2 ~省略~</p>  | <p>2 ~省略~</p>   |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| <p>■施策</p>   | <p>■施策</p>  |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |
| <p>1 地域完結型医療の推進<br/>《主な構成事業》<br/>地域医療推進事業、中央病院経営健全化推進事業、中央病院環境整</p>  | <p>1 地域完結型医療の推進<br/>《__構成事業》<br/>地域医療推進事業、中央病院経営健全化推進事業、中央病院環境整</p>                             |       |       |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |  |   |     |     |    |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |     |       |            |     |       |       |            |       |       |       |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>備事業、救急医療事業_____</p> <p>2 医療人材の育成・確保</p> <p>_____</p> <p>➤ 市立看護専門学校において、ICT・シミュレーションを活用したアクティブラーニングを推進するなど、看護師に求められる実践能力の向上に向け、教育環境の整備及び充実を図ります。</p> <p>_____</p> <p>政策分野3 包括的支援</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 超高齢社会の到来により、<br/>_____様々な支援を必要とする高齢者が増加する_____ため、住み慣れた自宅や地域で生活ができるよう、医療、介護、福祉等のサービスを切れ目なく提供することが求められています。</p> <p>2～3 ～省略～</p> | <p>備事業、救急医療事業_など</p> <p>2 医療人材の育成・確保</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 市立看護専門学校において、ICT・シミュレーションを活用したアクティブラーニングを推進するなど、看護師に求められる実践能力の向上に向け、教育環境の整備及び充実を図るとともに、<u>今後のあり方について検討します。</u></p> <p>政策分野3 包括的支援（71, 72 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 高齢化の更なる進行に伴い、<u>要介護リスクの上昇や、認知症高齢者など様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測される</u>ため、住み慣れた自宅や地域で生活ができるよう、医療、介護、福祉等のサービスを切れ目なく提供することが求められています。</p> <p>2～3 ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新              |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
|---|----------------|---------------|------------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|-----------|--------|--|----|----------------|---------------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|-----------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| <div data-bbox="338 304 983 785" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>要介護認定者数（1号被保険者）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>9,888</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>10,081</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>10,233</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>10,415</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>10,448</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="212 828 306 861" data-label="Section-Header"> <p>■ 施策</p> </div> <div data-bbox="212 880 497 916" data-label="Section-Header"> <p>1 高齢者支援の推進</p> </div> <div data-bbox="208 986 1115 1129" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高齢者の自立支援や介護予防、<u>要介護状態の重度化防止</u>の取組の拡充、生活支援サービスの充実<u>など</u>、地域包括支援センターの機能強化を図ります。</li> </ul> </div> <div data-bbox="219 1149 439 1184" data-label="Section-Header"> <p>《主な構成事業》</p> </div> <div data-bbox="232 1201 1115 1291" data-label="Text"> <p>地域包括ケア推進事業、介護予防・日常生活支援総合事業、認知症高齢者支援事業_____</p> </div> <div data-bbox="212 1308 512 1343" data-label="Section-Header"> <p>2 障害者福祉の推進</p> </div> <div data-bbox="219 1361 439 1398" data-label="Section-Header"> <p>《主な構成事業》</p> </div> | 年度             | 人数            | H27 (2015) | 9,888 | H28 (2016) | 10,081 | H29 (2017) | 10,233 | H30 (2018) | 10,415 | R1 (2019) | 10,448 | <div data-bbox="1238 301 1883 780" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>前期高齢者数・後期高齢者数の変化</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>前期高齢者 (65-74歳)</th> <th>後期高齢者 (75歳以上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>34,577</td> <td>29,282</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>35,004</td> <td>30,720</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>34,907</td> <td>32,125</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>34,786</td> <td>33,323</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>34,523</td> <td>34,521</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>34,167</td> <td>35,534</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1115 828 1214 861" data-label="Section-Header"> <p>■ 施策</p> </div> <div data-bbox="1115 880 1406 916" data-label="Section-Header"> <p>1 高齢者支援の推進</p> </div> <div data-bbox="1115 933 1294 968" data-label="Section-Header"> <p>《主な取組》</p> </div> <div data-bbox="1115 986 2033 1129" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高齢者の自立支援や介護予防・_____ 重度化防止の取組の拡充、生活支援サービスの充実____、地域包括支援センターの機能強化を図ります。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1124 1149 1346 1184" data-label="Section-Header"> <p>《____構成事業》</p> </div> <div data-bbox="1137 1201 2033 1291" data-label="Text"> <p>地域包括ケア推進事業、介護予防・日常生活支援総合事業、認知症高齢者支援事業 <u>など</u></p> </div> <div data-bbox="1115 1308 1406 1343" data-label="Section-Header"> <p>2 障害者福祉の推進</p> </div> <div data-bbox="1124 1361 1346 1398" data-label="Section-Header"> <p>《____構成事業》</p> </div> | 年度 | 前期高齢者 (65-74歳) | 後期高齢者 (75歳以上) | H27 (2015) | 34,577 | 29,282 | H28 (2016) | 35,004 | 30,720 | H29 (2017) | 34,907 | 32,125 | H30 (2018) | 34,786 | 33,323 | R1 (2019) | 34,523 | 34,521 | R2 (2020) | 34,167 | 35,534 |
| 年度  | 人数             |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H27 (2015)  | 9,888          |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H28 (2016)  | 10,081         |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H29 (2017)  | 10,233         |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H30 (2018)  | 10,415         |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| R1 (2019)   | 10,448         |               |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| 年度  | 前期高齢者 (65-74歳) | 後期高齢者 (75歳以上) |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H27 (2015)  | 34,577         | 29,282        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H28 (2016)  | 35,004         | 30,720        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H29 (2017)  | 34,907         | 32,125        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| H30 (2018)  | 34,786         | 33,323        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| R1 (2019)   | 34,523         | 34,521        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |
| R2 (2020)   | 34,167         | 35,534        |            |       |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |                |               |            |        |        |            |        |        |            |        |        |            |        |        |           |        |        |           |        |        |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>障害者地域生活支援事業、障害者就労等訓練事業、障害者福祉相談事業_____</p> <p>3 生活困窮者等に対する支援の充実</p> <p>_____</p> <p>➤ 暮らしや仕事などの問題を抱える人が速やかに相談・支援を受けられるよう、相談窓口_____の周知を行います。</p> <p>政策分野4 地域福祉</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 地域において、公的な支援やサービスだけでは対応できない生活課題が発生しており、問題を抱える世帯などが地域社会から孤立しないよう、支え合い、助け合い_____の充実が求められています。</p> <p>2 <u>ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の急増、世帯の核家族化、ひとり親世帯の増加</u>などにより、地域の繋がりが希薄化しているため、_____地域住民自らが福祉の担い手となり、<u>参加・活動する機会の創出</u>_____が求められています。</p> | <p>障害者地域生活支援事業、障害者就労等訓練事業、障害者福祉相談事業 <u>など</u></p> <p>3 生活困窮者等に対する支援の充実</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ 暮らしや仕事などの問題を抱える人が速やかに相談・支援を受けられるよう、相談窓口<u>であるユニバーサル就労支援センター</u>の周知を行います。</p> <p>政策分野4 地域福祉（73, 74 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 地域において、公的な支援やサービスだけでは対応できない生活課題が発生していることから、地域住民や多様な主体が関わり、課題を抱える個人や世帯に対する支援や対応を行うことができる体制の充実が求められています。</p> <p>2 <u>家族構成や生活スタイルの多様化</u>_____などにより、地域の繋がりが希薄化しているため、<u>ひとり暮らし高齢者などが地域社会から孤立しないよう、地域の絆づくりを進め、気軽に社会参加できる場や、地域住民自らが福祉の担い手となり</u>_____活動する機会を創出することが求められています。</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新         |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
|--|-----------|-----------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|-----------|-------|--|----|-----------|-----------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| <p>3 ～省略～</p> <div data-bbox="338 341 983 820" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>70歳以上の在宅高齢者世帯数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>3,903</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>3,939</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>4,241</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>4,525</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>4,799</td> </tr> </tbody> </table> <p>※70歳以上の人のみで構成された世帯及び70歳以上の人と18歳未満の人又は障害者で構成された世帯</p> </div> <p>■施策</p> <p>1 地域で支え合い助け合う体制の強化</p> <hr/> <p>➤ 様々な団体や地域組織、関係機関が役割を分担し、連携して地域の多様な福祉ニーズに対応することができるよう、<u>情報交換などを行い、ネットワークの充実</u>を図ります。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 ～省略～</p> | 年度        | 世帯数       | H27 (2015) | 3,903 | H28 (2016) | 3,939 | H29 (2017) | 4,241 | H30 (2018) | 4,525 | R1 (2019) | 4,799 | <p>3 ～省略～</p> <div data-bbox="1279 341 1924 820" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>70歳以上の在宅高齢者の世帯数・ひとり暮らし数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>高齢者世帯 (人)</th> <th>一人暮らし (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>3,903</td> <td>4,200</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>3,939</td> <td>4,335</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>4,241</td> <td>4,594</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>4,525</td> <td>4,841</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>4,799</td> <td>5,149</td> </tr> </tbody> </table> <p>※70歳以上の人のみで構成された世帯及び70歳以上の人と18歳未満の人又は障害者で構成された世帯</p> <p style="text-align: right;">※統計上の最新値は令和元（2019）年度</p> </div> <p>■施策</p> <p>1 地域で支え合い助け合う体制の強化</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 様々な団体や地域組織、関係機関が役割を分担し、連携して地域の多様な福祉ニーズに対応することができるよう、<u>情報交換などによる ネットワークの充実と、地域共生社会の理念の理解促進</u>を図ります。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 ～省略～</p> | 年度 | 高齢者世帯 (人) | 一人暮らし (人) | H27 (2015) | 3,903 | 4,200 | H28 (2016) | 3,939 | 4,335 | H29 (2017) | 4,241 | 4,594 | H30 (2018) | 4,525 | 4,841 | R1 (2019) | 4,799 | 5,149 |
| 年度   | 世帯数       |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H27 (2015)   | 3,903     |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H28 (2016)   | 3,939     |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H29 (2017)   | 4,241     |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H30 (2018)   | 4,525     |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| R1 (2019)  | 4,799     |           |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| 年度   | 高齢者世帯 (人) | 一人暮らし (人) |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H27 (2015)   | 3,903     | 4,200     |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H28 (2016)   | 3,939     | 4,335     |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H29 (2017)   | 4,241     | 4,594     |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| H30 (2018)   | 4,525     | 4,841     |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |
| R1 (2019)  | 4,799     | 5,149     |            |       |            |       |            |       |            |       |           |       |  |    |           |           |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |           |       |       |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

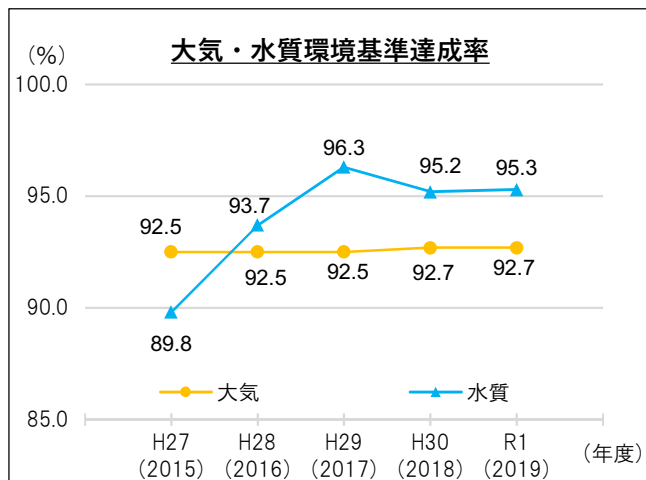
| 旧  | 新     |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
|--|-------|-----|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|---|----|-----|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
| <p>基本目標 4 豊かな環境を保ち継承するまち</p> <p>政策分野 1 地球環境</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～2 ～省略～</p> <div data-bbox="338 528 983 1011" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>富士市における温室効果ガス排出量</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>512.5</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>505.4</td> </tr> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>504.8</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>500.9</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>■基本方針</p> <p>1 <u>脱炭素社会の実現</u> に向けて、環境負荷の低減に繋がるエネルギー利用の促進や、既に生じている地球温暖化による影響への対応などを進めることにより、気候変動対策の推進を図ります。</p> <p>2 ～省略～</p> | 年度    | 排出量 | H25 (2013) | 512.5 | H26 (2014) | 505.4 | H27 (2015) | 504.8 | H28 (2016) | 500.9 | <p>基本目標 4 豊かな環境を保ち継承するまち</p> <p>政策分野 1 地球環境 (75, 76 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～2 ～省略～</p> <div data-bbox="1249 528 1895 1011" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>富士市における温室効果ガス排出量</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>538.4</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>532.3</td> </tr> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>534.6</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>527.9</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">※統計上の最新値は平成 28 (2016) 年度</p> <p>■基本方針</p> <p>1 <u>2050 年二酸化炭素実質排出ゼロ</u> に向けて、環境負荷の低減に繋がるエネルギー利用の促進や、既に生じている地球温暖化による影響への対応などを進めることにより、気候変動対策の推進を図ります。</p> <p>2 ～省略～</p> | 年度 | 排出量 | H25 (2013) | 538.4 | H26 (2014) | 532.3 | H27 (2015) | 534.6 | H28 (2016) | 527.9 |
| 年度   | 排出量   |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H25 (2013)   | 512.5 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H26 (2014)   | 505.4 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H27 (2015)   | 504.8 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H28 (2016)   | 500.9 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| 年度   | 排出量   |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H25 (2013)   | 538.4 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H26 (2014)   | 532.3 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H27 (2015)   | 534.6 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |
| H28 (2016)   | 527.9 |     |            |       |            |       |            |       |            |       |   |    |     |            |       |            |       |            |       |            |       |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>■施策</p> <p>1 気候変動対策の推進</p> <hr/> <p>➤ 地球温暖化などの気候変動への適応に向け、影響などについて情報を収集するとともに、市民や事業者等と広く連携し_____取り組みます。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野2 自然・生活環境</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 <u>大気・水質などに関する苦情が依然として寄せられており、また、ごみのポイ捨てやペットのふん害など、個人のモラルやマナーに起因する問題も発生していることから、市民が安心して快適に日常生活を送ることができるよう、生活環境の改善が_____求められています。</u></p> | <p>■施策</p> <p>1 気候変動対策の推進</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 地球温暖化などの気候変動の_____影響等_____について情報を収集するとともに、市民や事業者等と広く連携して<u>気候変動対策</u>に取り組みます。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野2 自然・生活環境（77, 78 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 <u>大気・水質に関する環境基準は概ね達成しているものの、ごみのポイ捨てやペットのふん害など、個人のモラルやマナーに起因する問題も発生していることから、市民が安心して快適に日常生活を送ることができるよう、生活環境を良好に保ち続けることが求められています。</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新 |
|---|---|
|---|---|



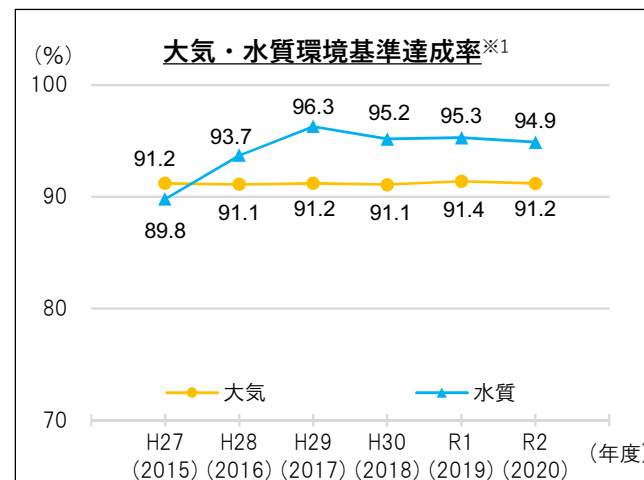
■基本方針

- ～省略～
- 大気や水質などに関する                      環境改善に努めるとともに、環境美化や公衆衛生向上に向けた取組を推進することにより、良好な生活環境の確保を図ります。

■施策

- 自然環境の保全・再生

➤ 「富士市富士・愛鷹山麓地域の森林機能の保全に関する条例」に基づき、森林伐採を伴う開発に対する指導を行うなど、          公



■基本方針

- ～省略～
- 大気や水質などに関して 更なる 環境改善に努めるとともに、環境美化や公衆衛生向上に向けた取組を推進することにより、良好な生活環境の確保を図ります。

■施策

- 自然環境の保全・再生

《主な取組》

➤ 「富士市富士・愛鷹山麓地域の森林機能の保全に関する条例」に基づき、森林伐採を伴う開発に対する指導を行うなど、森林の公

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>益的機能の保全を図ります。</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p>富士愛鷹山麓自然環境保全事業、生物多様性地域戦略事業、野生動物保護事業 _____</p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野3 循環型社会</p> <p>■施策</p> <p>1 廃棄物の3Rの推進</p> <hr/> <p>➤ 新環境クリーンセンターで発生する焼却灰を_____</p> <p>_____資源化するなど、最終処分量の減量化を推進します。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野4 水利用</p> <p>■施策</p> <p>1 安全で安心できる水道水の持続的な供給</p> <hr/> <p>➤ 大規模な地震の発生に備え、<u>重要度により優先順位を定めた水道</u></p> | <p>益的機能の保全を図ります。</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p>富士愛鷹山麓自然環境保全事業、生物多様性地域戦略事業、野生動物保護事業 <u>など</u></p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野3 循環型社会（79, 80 ページ）</p> <p>■施策</p> <p>1 廃棄物の3Rの推進</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ 新環境クリーンセンターで発生する焼却灰を<u>建築・土木資材として資源化する</u>など、最終処分量の減量化を推進します。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>政策分野4 水利用（81, 82 ページ）</p> <p>■施策</p> <p>1 安全で安心できる水道水の持続的な供給</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ 大規模な地震の発生に備え、<u>優先度を踏まえて</u>_____水道</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>施設の耐震化を計画的に推進します。</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p><u>水道施設整備事業、配水設備等改良事業、水道施設維持管理事業、簡易水道統合整備事業</u> _____</p> <p>2 生活排水対策の推進</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p>下水道管路整備事業、_____浄化槽普及促進事業、<u>下水道管渠等改築事業、下水道管路耐震化事業</u> _____</p> | <p>施設の耐震化を計画的に推進します。</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p>_____配水設備等改良事業、水道施設維持管理事業<br/>_____ <u>など</u></p> <p>2 生活排水対策の推進</p> <p>《<u>_____構成事業</u>》</p> <p>下水道管路整備事業、<u>下水処理場整備事業、浄化槽普及促進事業</u><br/>_____ <u>など</u></p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

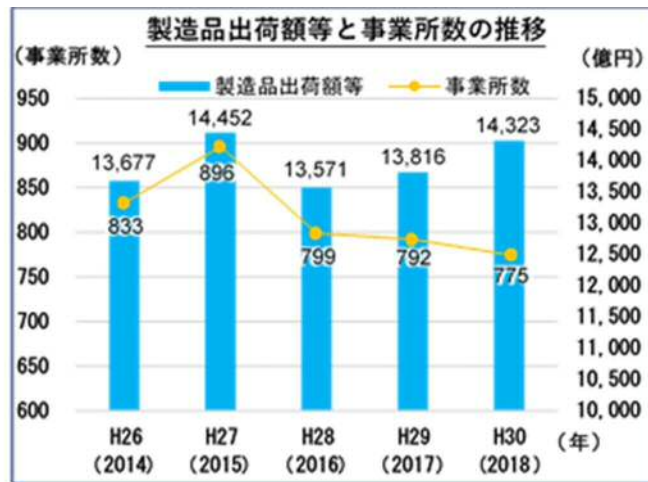
|   |   |
|---|---|
| 旧 | 新 |
|---|---|

基本目標 5 活力を創り高めるまち

政策分野 1 ものづくり産業

■現状と課題

1～3 ～省略～



■基本方針

1 ～省略～

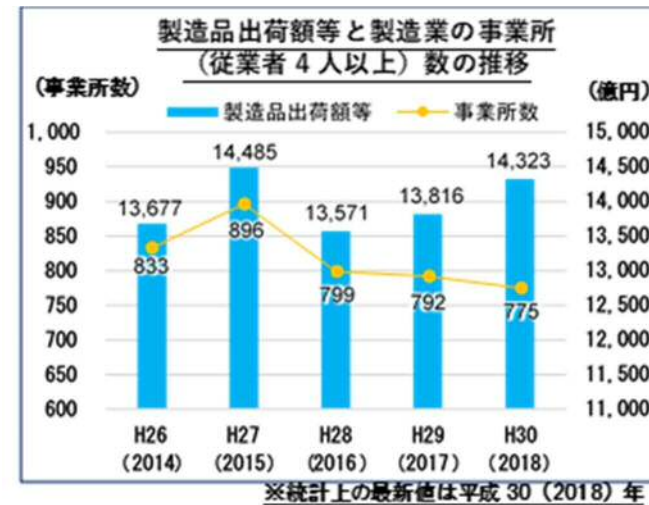
2 市内企業の製品・技術の国内外への情報発信など、ものづくりのまちをPRするとともに、付加価値の高いものづくりへの支援のほか、IoTやAI、産業用ロボット等による生産技術の革新を

基本目標 5 活力を創り高めるまち

政策分野 1 ものづくり産業 (83, 84 ページ)

■現状と課題

1～3 ～省略～



■基本方針

1 ～省略～

2 市内企業の製品・技術の国内外への情報発信など、ものづくりのまちをPRするとともに、付加価値の高いものづくりへの支援のほか、IoTやAI、産業用ロボット等による生産技術の革新を



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |
|--|---|
| <p>促進し、<u>      </u>生産性の向上を支援し、既存産業の活性化支援を図ります。</p> <p>3 新たな工業団地を整備するなど、ものづくり企業が立地しやすい環境を整備し、<u>工業立地</u>の促進を図ります。</p> <p>■施策</p> <p>1 新産業・成長産業への参入支援</p> <hr/> <p>➤ <u>バイオマス</u>由来で幅広い用途への活用が期待されるCNFについては、富士市CNFプラットフォームが主体となり、実用化推進に向けた諸事業を展開します。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 <u>工業立地</u>の促進</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》</p> <p>企業立地推進事業、富士山フロント工業団地第2期整備事業<u>      </u></p> <hr/> <p>政策分野2 商業・流通・サービス産業</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> | <p>促進するなど生産性の向上を支援し、既存産業の活性化支援を図ります。</p> <p>3 新たな工業団地を整備するなど、ものづくり企業が立地しやすい環境を整備し、<u>企業立地</u>の促進を図ります。</p> <p>■施策</p> <p>1 新産業・成長産業への参入支援</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ <u>植物</u><u>      </u>由来で幅広い用途への活用が期待されるCNFについては、富士市CNFプラットフォームが主体となり、実用化推進に向けた諸事業を展開します。</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 <u>企業立地</u>の促進</p> <p>《<u>      </u>構成事業》</p> <p>企業立地推進事業、富士山フロント工業団地第2期整備事業、<u>工業用地整備促進事業</u> <u>など</u></p> <hr/> <p>政策分野2 商業・流通・サービス産業（85,86ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

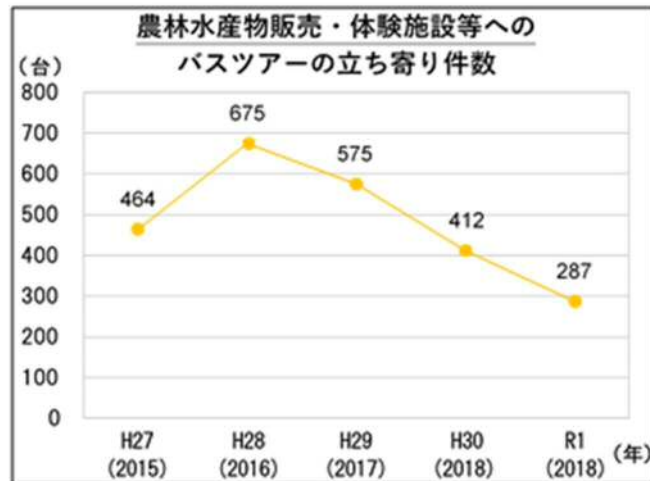
| 旧  | 新        |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
|--|----------|----------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|-----------|--------|--|----|--------|------------|------|------------|------|------------|------|-----------|------|-----------|------|
| <div data-bbox="331 295 974 774"> <table border="1"> <caption>商店街で実施したイベント来場者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来場者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>68,469</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>75,628</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>88,029</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>77,030</td> </tr> <tr> <td>R1 (2018)</td> <td>98,000</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="215 828 367 863"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="215 882 452 916"> <p>1～3 ～省略～</p> </div> <div data-bbox="215 987 311 1023"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="215 1042 645 1077"> <p>1 まちなかのにぎわい創出支援</p> </div> <div data-bbox="210 1149 1115 1398"> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ TMO等が実施するセミナーや各種イベントなど、<u>まちなか</u>の魅力をPRする事業等を支援し、固定客の増加を図ります。</li> <li>➢ 地域拠点機能を持つオフィスやサービス関連産業のオフィスなどの立地を促進し、<u>中心市街地</u>に新たな人の流れを創出します。</li> </ul> </div> | 年度       | 来場者数 (人) | H27 (2015) | 68,469 | H28 (2016) | 75,628 | H29 (2017) | 88,029 | H30 (2018) | 77,030 | R1 (2018) | 98,000 | <div data-bbox="1240 295 1883 774"> <table border="1"> <caption>富士本町・吉原商店街の空き店舗の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>16.4</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1361 780 1883 805"> <p>※富士本町・吉原商店街表通り1階の空き店舗の割合</p> </div> <div data-bbox="1126 828 1279 863"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="1126 882 1364 916"> <p>1～3 ～省略～</p> </div> <div data-bbox="1126 987 1223 1023"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="1126 1042 1554 1077"> <p>1 まちなかのにぎわい創出支援</p> </div> <div data-bbox="1126 1096 1301 1131"> <p>《主な取組》</p> </div> <div data-bbox="1126 1149 2038 1398"> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ TMO等が実施するセミナーや各種イベントなど、<u>中心市街地</u>の魅力をPRする事業等を支援し、固定客の増加を図ります。</li> <li>➢ 地域拠点機能を持つオフィスなどの立地の促進や、<u>中心市街地</u>周辺の環境整備と連携した<u>にぎわいづくり</u>により、<u>まちなか</u>に新たな人の流れを創出します。</li> </ul> </div> | 年度 | 割合 (%) | H28 (2016) | 18.7 | H29 (2017) | 19.9 | H30 (2018) | 18.5 | R1 (2019) | 16.7 | R2 (2020) | 16.4 |
| 年度   | 来場者数 (人) |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H27 (2015)   | 68,469   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H28 (2016)   | 75,628   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H29 (2017)   | 88,029   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H30 (2018)   | 77,030   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| R1 (2018)  | 98,000   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| 年度   | 割合 (%)   |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H28 (2016)   | 18.7     |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H29 (2017)   | 19.9     |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H30 (2018)   | 18.5     |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| R1 (2019)  | 16.7     |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| R2 (2020)  | 16.4     |          |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |    |        |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>2 商業振興によるまちの活性化<br/>《<u>主な構成事業</u>》<br/>_____、<u>地域特産品推進事業</u>、<u>商業振興助成事業</u>、<u>計量事業</u>_____</p> <p>3 港湾の利活用推進<br/>《<u>主な構成事業</u>》<br/><u>港湾振興事業</u>、_____</p> <p>政策分野3 農林水産業<br/>■現状と課題<br/>1 ~省略~<br/>2 <u>耕作放棄地</u>や<u>未整備山林</u>の<u>増加</u>、<u>農林水産業の関連施設が老朽化</u>_____していることから、<u>基盤整備</u>や<u>持続可能な生産基盤の保全</u>が求められています。<br/>3 _____<u>価格低迷</u>や<u>長時間労働</u>などによる<u>後継者や新規就業者</u>の減少により、<u>深刻な担い手不足</u>となっていることから、<u>担い手の安定経営</u>や<u>新規参入者の確保</u>が求められています。</p> | <p>2 商業振興によるまちの活性化<br/>《<u>_____構成事業</u>》<br/><u>地域ブランド推進事業</u>、<u>地域特産品推進事業</u>、<u>商業振興助成事業</u>_____ <u>など</u></p> <p>3 港湾の利活用推進<br/>《<u>_____構成事業</u>》<br/><u>港湾振興事業</u>、<u>港湾整備促進事業</u></p> <p>政策分野3 農林水産業（87, 88 ページ）<br/>■現状と課題<br/>1 ~省略~<br/>2 <u>荒廃農地</u>や<u>未整備山林</u>の<u>拡大</u>、<u>農林水産業の関連施設の老朽化</u>とともに、<u>野生鳥獣による農産物等への被害が増加</u>していることから、_____ <u>持続可能な生産基盤の保全</u>が求められています。<br/>3 <u>農林水産物の価格低迷</u>や<u>長時間労働</u>などによる<u>後継者等</u>_____の減少により、<u>深刻な担い手不足</u>となっていることから、<u>新規参入者の確保</u>や<u>担い手の安定経営</u>が求められています。</p> |

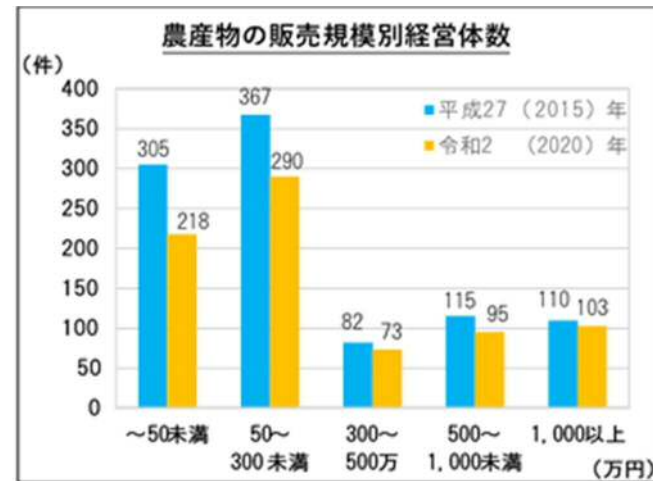
「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

|   |   |
|---|---|
| 旧 | 新 |
|---|---|



■基本方針

- 1 農林水産事業者と連携し、地場産品の特産化\_\_\_\_\_を進めるとともに、市内外へ積極的に\_\_\_\_\_PRするなど、地場産品の生産支援と付加価値の向上を図ります。
- 2 持続可能な生産性の確保を支援するとともに、自然災害\_\_\_\_\_への対策を進めるなど、農地及び山林等の生産基盤の保全・拡充を図ります。
- 3 意欲的な担い手や新規参入者の生産規模拡大を支援し、経営の安定化と耕作放棄地などの活用を促進し、担い手の確保・育成を図ります。



■基本方針

- 1 農林水産事業者と連携し、地場産品の特産化と地産地消を進めるとともに、市内外へ積極的に農林水産物をPRするなど、地場産品の生産支援と付加価値の向上を図ります。
- 2 持続可能な生産性の確保を支援するとともに、自然災害や鳥獣被害への対策を進めるなど、農地及び森林等の生産基盤の保全・拡充を図ります。
- 3 意欲的な担い手や新規参入者の生産規模拡大を支援し、経営の安定化と効率化\_\_\_\_\_を促進し、担い手の確保・育成を図ります。

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>■施策</p> <p>1 地場産品の生産支援と付加価値の向上</p> <hr/> <p>➤ 富士のほうじ茶のブランド化や梨、キウイフルーツなどの落葉果樹__の特産化を推進するとともに、各種補助制度により、____農産物の競争力強化を図ります。</p> <p>➤ 民間事業者と連携し____、____増産体制の強化を図り、原木の安定供給体制の確立を進めます</p> <hr/> <p>➤ 首都圏の工務店等と連携を図り、富士ヒノキの販路拡大を推進します。</p> <p>➤ 富士ヒノキ製玩具を新生児の誕生祝として贈呈するなど、木の温もりを感じる取組を通じて、富士ヒノキをPRします。</p> <hr/> <p>➤ _____</p> <hr/> <p>____</p> <p>《主な構成事業》</p> <p>茶業振興事業、農業振興事業、林業普及事業、水産業振興事業</p> <hr/> <p>____</p> | <p>■施策</p> <p>1 地場産品の生産支援と付加価値の向上</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ お茶や柑橘類、____落葉果樹等の特産化を推進するとともに、6次産業化に取り組む生産者への支援などを通じて、農産物の競争力強化を図ります。</p> <p>➤ 民間事業者と連携を図り、原木の増産体制の強化と安定供給体制の確立を進めるとともに、首都圏における「FUJI HINOKI MADE（フジヒノキメイド）」の販路拡大を推進します。</p> <hr/> <p>➤ _____</p> <hr/> <p>➤ _____</p> <hr/> <p>➤ 学校給食等への地元食材の利用促進や市内における地域材の積極的な活用支援などを通じて、農林水産物の地産地消を推進します。</p> <hr/> <p>《____構成事業》</p> <p>茶業振興事業、農業振興事業、林業普及事業、水産業振興事業など</p> |

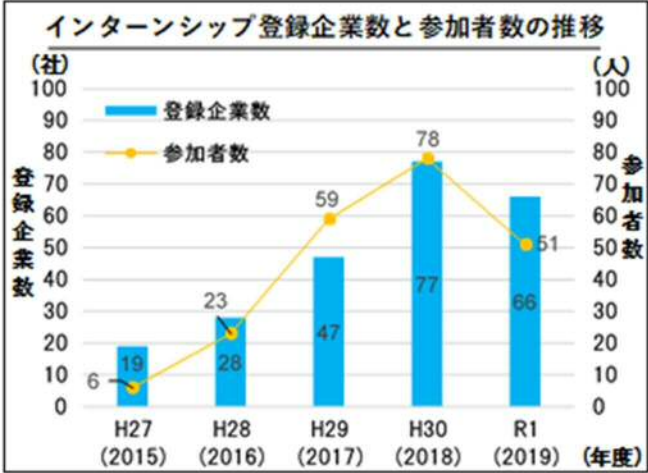

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>2 生産基盤の保全・拡充</p> <hr/> <p>➤ 農業基盤整備により優良農地を創出し、<u>農業</u>の生産性や効率性の向上と耕作放棄地の解消を図ります。</p> <p>➤ <u>農業用水路や農道などの農業用施設の保全・整備</u>に取り組み、<u>多様な農業生産物の安定的な生産体制の確保と自然災害</u> _____ などによる<u>農地</u> _____ への被害軽減を図ります。</p> <p>➤ 造林・間伐・林地保全などを支援し、健全な森林を造成することにより、資源の循環利用を進め、持続可能な森林経営を<u>推進</u>します。</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》<br/> <u>富士南麓樹園地整備事業、農道・農業施設維持管理事業、林業振興事業</u> _____、<u>林地保全事業</u> _____</p> <p>3 担い手の確保・育成</p> <p>《<u>主な構成事業</u>》<br/> 担い手確保育成事業、農地集積事業、 _____</p> <p>政策分野4 中小企業等振興</p> <p>■<u>将来のまちの姿</u><br/> 中小企業等が地域経済の原動力となり _____ 活躍し続けられるまち</p> | <p>2 生産基盤の保全・拡充</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ 農業基盤整備により優良農地を創出し、 _____ 生産性や効率性の向上と<u>荒廃農地</u> _____ の解消を図ります。</p> <p>➤ <u>農林水産用</u> _____ 施設の保全・整備に取り組み、 _____ 安定的な生産体制の確保と自然災害<u>や鳥獣被害</u> などによる<u>農林水産物</u>への被害軽減を図ります。</p> <p>➤ 造林・間伐・林地保全などを支援し、健全な森林を造成することにより、資源の循環利用を進め、持続可能な森林経営を<u>促進</u>します。</p> <p>《<u>_____ 構成事業</u>》<br/> _____ <u>農道・農業施設維持管理事業、荒廃農地対策事業、鳥獣被害対策事業</u> など</p> <p>3 担い手の確保・育成</p> <p>《<u>_____ 構成事業</u>》<br/> 担い手確保育成事業、農地集積事業、<u>林業振興事業</u> など</p> <p>政策分野4 中小企業等振興（89, 90 ページ）</p> <p>■<u>将来のまちの姿</u><br/> 中小企業等が地域経済の原動力となり <u>だれもが</u>活躍し続けられるまち</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新          |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
|--|------------|----------|----------|------------|-------|--------|------------|-------|--------|------------|--------|---------|-----------|--------|---------|------------|--------|---------|------------|--------|---------|--|----|------------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|------------|------|-----------|------|-----------|------|
| <p>■現状と課題</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 働き方の多様化が進む中、性別・年齢に関わらず、ワーク・ライフ・バランスの調和が取れ、だれもが安心して働くことのできる環境の実現が求められています。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>事業所数と従業者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>事業所数 (社)</th> <th>従業者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S47 (1972)</td> <td>8,280</td> <td>87,964</td> </tr> <tr> <td>S53 (1978)</td> <td>9,901</td> <td>93,847</td> </tr> <tr> <td>S61 (1986)</td> <td>11,437</td> <td>108,969</td> </tr> <tr> <td>H8 (1996)</td> <td>13,404</td> <td>123,654</td> </tr> <tr> <td>H18 (2006)</td> <td>12,176</td> <td>114,560</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>11,778</td> <td>119,139</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 年          | 事業所数 (社) | 従業者数 (人) | S47 (1972) | 8,280 | 87,964 | S53 (1978) | 9,901 | 93,847 | S61 (1986) | 11,437 | 108,969 | H8 (1996) | 13,404 | 123,654 | H18 (2006) | 12,176 | 114,560 | H28 (2016) | 11,778 | 119,139 | <p>■現状と課題</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 ～省略～</p> <p>3 働き方の多様化が進む中、性別・年齢に関わらず、ワーク・ライフ・バランスが実現され、だれもが安心して働くことのできる環境の整備が求められています。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>有効求人倍率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>有効求人倍率 (倍)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>0.76</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>1.09</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>1.57</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>1.65</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>1.09</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 年度 | 有効求人倍率 (倍) | H25 (2013) | 0.76 | H26 (2014) | 0.93 | H27 (2015) | 1.09 | H28 (2016) | 1.25 | H29 (2017) | 1.57 | H30 (2018) | 1.65 | R1 (2019) | 1.40 | R2 (2020) | 1.09 |
| 年  | 事業所数 (社)   | 従業者数 (人) |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| S47 (1972)   | 8,280      | 87,964   |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| S53 (1978)   | 9,901      | 93,847   |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| S61 (1986)   | 11,437     | 108,969  |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H8 (1996)  | 13,404     | 123,654  |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H18 (2006)   | 12,176     | 114,560  |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H28 (2016)   | 11,778     | 119,139  |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| 年度   | 有効求人倍率 (倍) |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H25 (2013)   | 0.76       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H26 (2014)   | 0.93       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H27 (2015)   | 1.09       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H28 (2016)   | 1.25       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H29 (2017)   | 1.57       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| H30 (2018)   | 1.65       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| R1 (2019)  | 1.40       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |
| R2 (2020)  | 1.09       |          |          |            |       |        |            |       |        |            |        |         |           |        |         |            |        |         |            |        |         |  |    |            |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |            |      |           |      |           |      |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新         |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
|--|-----------|-----------|----------|------------|---|----|------------|----|----|------------|----|----|------------|----|----|-----------|----|----|--|----|-----------|------------|----|------------|----|------------|----|------------|----|-----------|----|-----------|----|
|  <p><b>インターンシップ登録企業数と参加者数の推移</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録企業数 (社)</th> <th>参加者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>23</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>47</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>77</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>66</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>■成果指標<br/>         中小企業等が地域経済の原動力となり _____ 活躍し続けられるまち</p> <p>■基本方針<br/>         1～3 ～省略～</p> <p>■施策<br/>         1 経営基盤の強化及び起業・創業支援</p> <hr/> <p>➤ 市内中小企業者等から意見を伺い、<u>産業支援機関や金融機関等と連携し、中小企業が抱える人材不足や事業承継などの喫緊の課題</u></p> | 年度        | 登録企業数 (社) | 参加者数 (人) | H27 (2015) | 6 | 19 | H28 (2016) | 23 | 28 | H29 (2017) | 47 | 59 | H30 (2018) | 77 | 78 | R1 (2019) | 66 | 51 |  <p><b>インターンシップ登録企業数の推移</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>登録企業数 (社)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>R2 (2020)</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table> <p>■成果指標<br/>         中小企業等が地域経済の原動力となり <u>だれもが</u> 活躍し続けられるまち</p> <p>■基本方針<br/>         1～3 ～省略～</p> <p>■施策<br/>         1 経営基盤の強化及び起業・創業支援</p> <p>《<u>主な取組</u>》</p> <p>➤ 市内中小企業等から意見を伺い、 _____ <u>人材不足や事業承継などの喫緊の課題</u></p> | 年度 | 登録企業数 (社) | H27 (2015) | 19 | H28 (2016) | 28 | H29 (2017) | 47 | H30 (2018) | 77 | R1 (2019) | 66 | R2 (2020) | 98 |
| 年度   | 登録企業数 (社) | 参加者数 (人)  |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H27 (2015)   | 6         | 19        |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H28 (2016)   | 23        | 28        |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H29 (2017)   | 47        | 59        |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H30 (2018)   | 77        | 78        |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| R1 (2019)  | 66        | 51        |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| 年度   | 登録企業数 (社) |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H27 (2015)   | 19        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H28 (2016)   | 28        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H29 (2017)   | 47        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| H30 (2018)   | 77        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| R1 (2019)  | 66        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |
| R2 (2020)  | 98        |           |          |            |   |    |            |    |    |            |    |    |            |    |    |           |    |    |  |    |           |            |    |            |    |            |    |            |    |           |    |           |    |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新   |
|--|---|
| <p>に対して、実効性のある取組を_____実施します。</p> <p>2 雇用及び就労への支援</p> <hr/> <p>➤ 合同企業面接会を開催するなど、ハローワーク富士と連携し、雇用状況の改善_____就労支援の強化を図ります。</p> <p>《主な構成事業》<br/>雇用対策事業、_____高齢者就業センター運営管理事業、労働統計事業 _____</p> <p>3 労働環境の充実</p> <hr/> <p>➤ _____</p> <p>➤ 生活環境の改善に資する取組を実施するなど、就労者の福利厚生<br/>の充実を支援します。</p> <p>➤ 就労者が個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できるよう、中<br/>小企業等のテレワークの導入などを促進します。</p> <p>《主な構成事業》<br/>_____勤労者福利厚生助成事業、勤労者融資事業、テレワ<br/>ーク推進事業 _____</p> | <p>に対して、実効性のある取組を産業支援機関や金融機関等と連携<br/>して実施します。</p> <p>2 雇用及び就労への支援</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ ハローワーク富士をはじめとする関係機関等_____と連携し、雇<br/>用機会の確保や、若者、女性、高齢者など働く意欲のある全ての<br/>市民に対して就労支援の充実を図ります。</p> <p>《_____構成事業》<br/>雇用対策事業、<u>高齢者就労支援助成事業</u>、高齢者就業センター運営<br/>管理事業_____ など</p> <p>3 労働環境の充実</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 中小企業等に対してテレワークなどの新しい働き方の導入を促<br/>進し、就労者の多様な働き方の実現を図ります。</p> <p>➤ 中小企業の福利厚生を支援し、就労者の健康維持増進や知識・教<br/>養の向上など生活の充実を図ります。</p> <p>➤ _____</p> <p>《_____構成事業》<br/><u>労働啓発事業</u>、勤労者福利厚生助成事業、勤労者融資事業_____<br/>_____ など</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新           |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
|---|-------------|-------------|-----------|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|--|----|-------------|-----------|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----------|-----|-----|
| <p>基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち</p> <p>政策分野 1 観光</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 <u>富士山と海</u>の両方をもつ唯一のまちという他にはない強みや、<u>都市圏</u>から人を呼び込みやすい地理的優位性を有することから、本市のポテンシャルを最大限に活かした誘客の推進を図る必要があります。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <div style="text-align: center;"> <p>富士市の観光交流客数及び宿泊客数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (千人)</th> <th>宿泊客数 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>618</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>614</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>637</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>653</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>663</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>673</td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 宿泊客数については、H28 から調査手法の変更あり。</p> </div> | 年度          | 観光交流客数 (千人) | 宿泊客数 (万人) | H25 (2013) | 618 | 582 | H26 (2014) | 614 | 559 | H27 (2015) | 637 | 573 | H28 (2016) | 653 | 415 | H29 (2017) | 663 | 469 | H30 (2018) | 673 | 580 | <p>基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち</p> <p>政策分野 1 観光 (91, 92 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 <u>日本一高い富士山と日本一深い駿河湾</u>の両方をもつ唯一のまちという他にはない強みや、<u>大都市圏</u>から人を呼び込みやすい地理的優位性を有することから、本市のポテンシャルを最大限に活かした誘客の推進を図る必要があります。</p> <p>2～3 ～省略～</p> <div style="text-align: center;"> <p>富士市の観光交流客数及び宿泊客数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (千人)</th> <th>宿泊客数 (万人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>618</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>614</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>637</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>653</td> <td>415</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>663</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>673</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>656</td> <td>551</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 宿泊客数については、H28 から調査手法の変更あり。</p> <p>※統計上の最新値は令和元（2019）年</p> </div> | 年度 | 観光交流客数 (千人) | 宿泊客数 (万人) | H25 (2013) | 618 | 582 | H26 (2014) | 614 | 559 | H27 (2015) | 637 | 573 | H28 (2016) | 653 | 415 | H29 (2017) | 663 | 469 | H30 (2018) | 673 | 580 | R1 (2019) | 656 | 551 |
| 年度  | 観光交流客数 (千人) | 宿泊客数 (万人)   |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H25 (2013)  | 618         | 582         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H26 (2014)  | 614         | 559         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H27 (2015)  | 637         | 573         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H28 (2016)  | 653         | 415         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H29 (2017)  | 663         | 469         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H30 (2018)  | 673         | 580         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| 年度  | 観光交流客数 (千人) | 宿泊客数 (万人)   |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H25 (2013)  | 618         | 582         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H26 (2014)  | 614         | 559         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H27 (2015)  | 637         | 573         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H28 (2016)  | 653         | 415         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H29 (2017)  | 663         | 469         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| H30 (2018)  | 673         | 580         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |
| R1 (2019)   | 656         | 551         |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |  |    |             |           |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |            |     |     |           |     |     |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>■基本方針</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 観光関係者と協働し、地域の観光事業の創出を促進するとともに、<u>市外や海外から</u> 継続的に誘客できるよう、<u>産業資源や歴史・伝統文化、自然、景観など、本市や周辺地域の観光資源の活用を図ります。</u></p> <p>3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 富士山活用の推進</p> <hr/> <p>➢ <u>富士山登山ルート3776など、</u> 本市ならではの<u>特徴を活かした取組を推進します。</u></p> <p>2 観光資源の活用</p> <hr/> <p>➢ <u>観光関係者と</u> 連携し、<u>地域全体で観光産業を底上げできるよう、民間主体による観光事業の創出や活性化に向け支援します。</u></p> <hr/> <p>3 観光インフラの整備</p> <hr/> | <p>■基本方針</p> <p>1 ～省略～</p> <p>2 観光関係者と協働し、地域の観光事業の創出を促進するとともに、<u>ビジネス訪問を含む国内外の観光客を継続的に誘客できるよう、周辺地域との広域連携を強化し、回遊性を高め、</u> 観光資源の活用を図ります。</p> <p>3 ～省略～</p> <p>■施策</p> <p>1 富士山活用の推進</p> <p>《主な取組》</p> <p>➢ <u>富士山登山ルート3776など、富士山麓の自然を体感できる本市ならではの</u>特徴を活かした取組を推進します。</p> <p>2 観光資源の活用</p> <p>《主な取組》</p> <p>➢ <u>富士山周辺地域の観光関係者や自治体と連携し、</u> 民間主体による観光事業の創出や活性化に向け支援することで、<u>地域全体で観光産業の底上げを図ります。</u></p> <p>3 観光インフラの整備</p> <p>《主な取組》</p> |

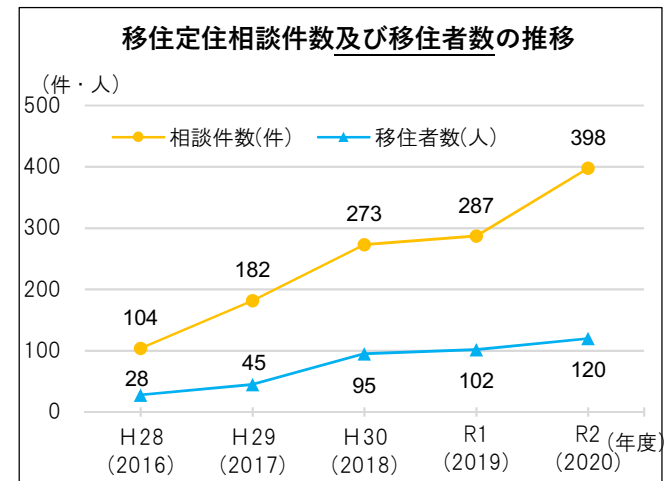
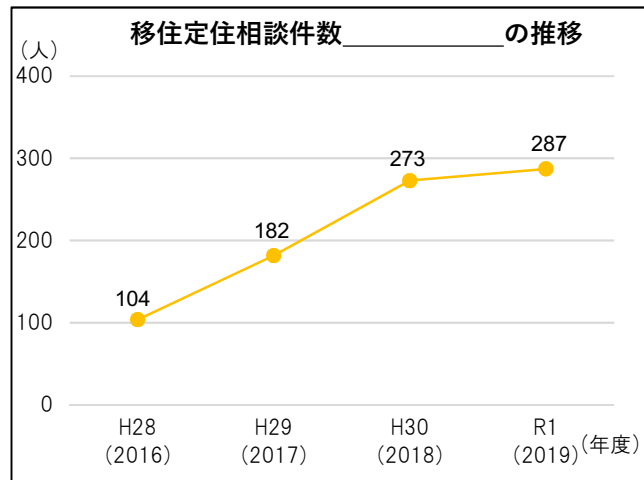
「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新  |
|--|--|
| <p>           ▶ 観光客の増加が見込める観光スポットの _____ 受入環境の向上を図るとともに、観光案内板、トイレ、駐車場などの整備を進めます。<br/>           ▶ 国内外の旅行者が情報収集する最新の状況に応じ、動画やウェブサイト、SNS等を積極的に利用した情報発信や継続的なコンテンツの更新を行うとともに、デジタルマーケティングなどにより観光に関するアクセスデータを分析し、効果的な事業展開を図ります。         </p> <p>           政策分野2 シティプロモーション<br/>           ■現状と課題<br/>           1 ～省略～<br/>           2 テレワークをはじめとした働き方の変化やライフスタイルの多様化が進み、東京圏在住者の地方への関心が高まっていることから、本市での _____ 暮らしの魅力を発信するとともに、移住しやすい環境づくりが _____ 求められています。         </p> | <p>           ▶ 観光客が増加している観光スポットを中心に、 _____ 受入環境の向上を図るとともに、観光案内板、トイレ、駐車場などの整備を進めます。<br/>           ▶ 国内外の旅行者の情報ニーズに対応できるよう _____、動画やウェブサイト、SNS等を積極的に利用した情報発信や継続的なコンテンツの更新を行うとともに、デジタルマーケティングなどにより観光に関するアクセスデータを分析し、効果的な事業展開を図ります。         </p> <p>           政策分野2 シティプロモーション (93, 94 ページ)<br/>           ■現状と課題<br/>           1 ～省略～<br/>           2 テレワークをはじめとした働き方の変化やライフスタイルの多様化が進み、移住定住 _____ への関心が高まっていることから、本市ならではの暮らしの魅力を発信するとともに、移住しやすい環境づくりが <u>更</u>に求められています。         </p> |

# 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

旧

新



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>■施策</p> <p>1 まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成</p> <hr/> <p>➤ 市内外でのミーティングやワークショップなどを戦略的に実施し、居住地に関わらず本市に様々な形で継続的に関わる人を創出・拡大するとともに、本市の魅力を語れる人や、<u>地域参画総量</u>の増加を図ります。</p> <p>2 移住定住の促進</p> <hr/> <p>➤ <u>東京圏在住者のテレワーク等の普及やライフスタイルの変化</u>などによる地方への移住定住の関心の高まりやニーズの変化を踏まえ、<u>移住希望者への支援</u>を行います。</p> <p>政策分野3 交流</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> | <p>■施策</p> <p>1 まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 市内外でのミーティングやワークショップなどを戦略的に実施し、居住地に関わらず本市に様々な形で継続的に関わる人を創出・拡大するとともに、本市の魅力を語れる人や、<u>まちのために進んで活動できる人、まちや人に感謝できる人の増加</u>を図ります。</p> <p>2 移住定住の促進</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ <u>東京圏在住者をはじめとした移住定住希望者への支援</u>を行います。</p> <p>政策分野3 交流（95, 96 ページ）</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

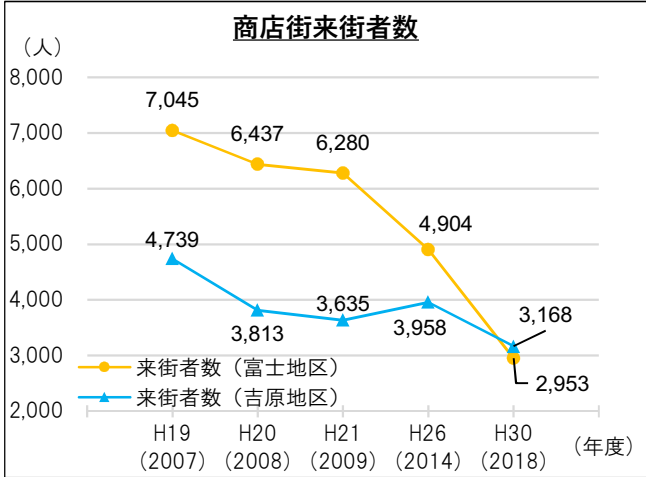
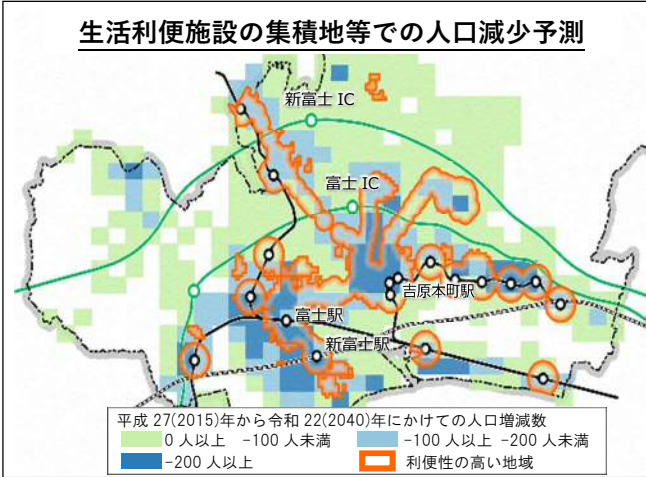
| 旧  | 新      |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
|--|--------|----|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|-----------|--------|--|
| <div data-bbox="331 312 974 791" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>富士市コンベンション等開催事業補助金<br/>交付のスポーツ大会参加者宿泊総数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>11,475</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>13,668</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>14,048</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>15,695</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>10,633</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="215 880 365 911" data-label="Section-Header"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="215 933 1117 1126" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツに適した本市の豊かな地域資源を活かし、全国規模のスポーツ大会・イベントを誘致するなど、<u>スポーツツーリズム</u>の推進を図ります。</li> <li>2～3 ～省略～</li> </ol> </div> <div data-bbox="215 1201 309 1233" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="215 1254 658 1396" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <u>スポーツツーリズム</u>の推進</li> <li>2 文化芸術を通じた交流の創出</li> </ol> </div> | 年度     | 人数 | H27 (2015) | 11,475 | H28 (2016) | 13,668 | H29 (2017) | 14,048 | H30 (2018) | 15,695 | R1 (2019) | 10,633 | <div data-bbox="1267 312 1881 791" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1704 746 1861 770" data-label="Caption"> <p>富士山女子駅伝</p> </div> <div data-bbox="1122 880 1272 911" data-label="Section-Header"> <p>■基本方針</p> </div> <div data-bbox="1122 933 2024 1126" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツに適した本市の豊かな地域資源を活かし、全国規模のスポーツ大会・イベントを誘致するなど、<u>スポーツ交流</u>の推進を図ります。</li> <li>2～3 ～省略～</li> </ol> </div> <div data-bbox="1122 1201 1216 1233" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="1122 1254 1568 1396" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <u>スポーツ交流</u>の推進</li> </ol> <p>《主な取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 文化芸術を通じた交流の創出</li> </ol> </div> |
| 年度   | 人数     |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
| H27 (2015)   | 11,475 |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
| H28 (2016)   | 13,668 |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
| H29 (2017)   | 14,048 |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
| H30 (2018)   | 15,695 |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |
| R1 (2019)  | 10,633 |    |            |        |            |        |            |        |            |        |           |        |  |

## 「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新  |
|---|--|
| <p>_____</p> <p>➤ 民間団体等が行う文化芸術イベントの開催を支援し、本市の魅力を市内外に発信します_____。</p> <p>3 国際交流の促進</p> <p>_____</p> <p>➤ 東京オリンピック_____でのホストタウン等を通じ、本市と縁のある海外都市等との新たな関係づくりを進め交流を促進します。</p> | <p>《主な取組》</p> <p>➤ 民間団体等が行う文化芸術イベントの開催を支援し、本市の魅力の発信やにぎわいづくりを進めます。</p> <p>3 国際交流の促進</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 東京 <u>2020 オリンピック・パラリンピック</u>でのホストタウン等を通じ、本市と縁のある海外都市等との新たな関係づくりを進め交流を促進します。</p> |



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新           |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
|---|-------------|-------------|-------------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|---|-------|---|--------------|---|-----------------|---|---------|----|----------|------|
| <p>基本目標 7 快適な暮らしを続けられるまち</p> <p>政策分野 1 市街地形成</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 生活利便施設の集積地においても人口減少が予測されていることなどから、「いかす・まもる」の考え方を軸足とし、<u>長期的視点で</u> _____集約・連携型の都市づくりを推進する必要があります。</p> <p>2～3 ～省略～</p>  <table border="1"> <caption>商店街来街者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来街者数 (富士地区)</th> <th>来街者数 (吉原地区)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19 (2007)</td> <td>7,045</td> <td>4,739</td> </tr> <tr> <td>H20 (2008)</td> <td>6,437</td> <td>3,813</td> </tr> <tr> <td>H21 (2009)</td> <td>6,280</td> <td>3,635</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>4,904</td> <td>3,958</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>2,953</td> <td>3,168</td> </tr> </tbody> </table> | 年度          | 来街者数 (富士地区) | 来街者数 (吉原地区) | H19 (2007) | 7,045 | 4,739 | H20 (2008) | 6,437 | 3,813 | H21 (2009) | 6,280 | 3,635 | H26 (2014) | 4,904 | 3,958 | H30 (2018) | 2,953 | 3,168 | <p>基本目標 7 快適な暮らしを続けられるまち</p> <p>政策分野 1 市街地形成 (97, 98 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1 生活利便施設の集積地においても人口減少が予測されていることなどから、<u>長期的視点で、生活の利便性や安心して暮らせる環境を確保する</u>集約・連携型の都市づくりを推進する必要があります。</p> <p>2～3 ～省略～</p>  <table border="1"> <caption>生活利便施設の集積地等での人口減少予測</caption> <thead> <tr> <th>人口増減数</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0人以上 -100人未満</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>-100人以上 -200人未満</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>-200人以上</td> <td>濃青</td> </tr> <tr> <td>利便性の高い地域</td> <td>オレンジ</td> </tr> </tbody> </table> | 人口増減数 | 色 | 0人以上 -100人未満 | 緑 | -100人以上 -200人未満 | 青 | -200人以上 | 濃青 | 利便性の高い地域 | オレンジ |
| 年度  | 来街者数 (富士地区) | 来街者数 (吉原地区) |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| H19 (2007)  | 7,045       | 4,739       |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| H20 (2008)  | 6,437       | 3,813       |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| H21 (2009)  | 6,280       | 3,635       |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| H26 (2014)  | 4,904       | 3,958       |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| H30 (2018)  | 2,953       | 3,168       |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| 人口増減数   | 色           |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| 0人以上 -100人未満  | 緑           |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| -100人以上 -200人未満   | 青           |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| -200人以上   | 濃青          |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |
| 利便性の高い地域  | オレンジ        |             |             |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |            |       |       |   |       |   |              |   |                 |   |         |    |          |      |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧  | 新        |          |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
|--|----------|----------|---------|------------|--------|-------|------------|--------|-------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|------------|--------|--------|---|---|-------|------|------------|-------|-----|------------|-------|-----|------------|--------|------|------------|--------|------|------------|--------|------|
| <div data-bbox="333 311 985 790" data-label="Figure"> <p>住宅ストックの経年変化</p> <p>(戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>主世帯数(世帯)</th> <th>空き家(総数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H10 (1998)</td> <td>72,040</td> <td>5,620</td> </tr> <tr> <td>H15 (2003)</td> <td>80,930</td> <td>8,450</td> </tr> <tr> <td>H20 (2008)</td> <td>86,020</td> <td>10,900</td> </tr> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>90,750</td> <td>13,290</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>93,860</td> <td>14,410</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成15年までは旧富士市の値</p> </div> <div data-bbox="212 882 309 916" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="212 936 642 1023" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ～省略～</li> <li>2 魅力あふれるまちなかの形成</li> </ol> </div> <hr/> <div data-bbox="219 1096 1111 1184" data-label="Text"> <p>➤ まちなかにおいて、<u>既存ストックの改変</u>により、居心地が良く歩きたくなる空間を形成し、官民による</p> </div> <div data-bbox="468 1201 987 1238" data-label="Text"> <p>ゆとりとにぎわいの創出を促進します。</p> </div> <div data-bbox="212 1256 396 1289" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 ～省略～</li> </ol> </div> | 年        | 主世帯数(世帯) | 空き家(総数) | H10 (1998) | 72,040 | 5,620 | H15 (2003) | 80,930 | 8,450 | H20 (2008) | 86,020 | 10,900 | H25 (2013) | 90,750 | 13,290 | H30 (2018) | 93,860 | 14,410 | <div data-bbox="1249 304 1904 785" data-label="Figure"> <p>空き家戸数と空き家率</p> <p>(戸) (左軸) / (%) (右軸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>空き家戸数</th> <th>空き家率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H10 (1998)</td> <td>5,620</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>H15 (2003)</td> <td>8,450</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>H20 (2008)</td> <td>10,900</td> <td>11.2</td> </tr> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>13,290</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>14,410</td> <td>13.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※統計上の最新値は平成30(2018)年</p> </div> <div data-bbox="1115 882 1216 916" data-label="Section-Header"> <p>■施策</p> </div> <div data-bbox="1115 936 1552 1023" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ～省略～</li> <li>2 魅力あふれるまちなかの形成</li> </ol> </div> <div data-bbox="1124 1042 1294 1075" data-label="Section-Header"> <p>《主な取組》</p> </div> <div data-bbox="1115 1096 2040 1238" data-label="Text"> <p>➤ まちなかにおいて、<u>公共用地の有効活用等</u>により、居心地が良く歩きたくなる空間を形成するとともに、官民連携によるソフト施策を充実させ、ゆとりとにぎわいの創出を促進します。</p> </div> <div data-bbox="1115 1256 1301 1289" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 ～省略～</li> </ol> </div> | 年 | 空き家戸数 | 空き家率 | H10 (1998) | 5,620 | 7.1 | H15 (2003) | 8,450 | 9.3 | H20 (2008) | 10,900 | 11.2 | H25 (2013) | 13,290 | 12.7 | H30 (2018) | 14,410 | 13.3 |
| 年  | 主世帯数(世帯) | 空き家(総数)  |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H10 (1998)   | 72,040   | 5,620    |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H15 (2003)   | 80,930   | 8,450    |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H20 (2008)   | 86,020   | 10,900   |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H25 (2013)   | 90,750   | 13,290   |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H30 (2018)   | 93,860   | 14,410   |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| 年  | 空き家戸数    | 空き家率     |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H10 (1998)   | 5,620    | 7.1      |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H15 (2003)   | 8,450    | 9.3      |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H20 (2008)   | 10,900   | 11.2     |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H25 (2013)   | 13,290   | 12.7     |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |
| H30 (2018)   | 14,410   | 13.3     |         |            |        |       |            |        |       |            |        |        |            |        |        |            |        |        |   |   |       |      |            |       |     |            |       |     |            |        |      |            |        |      |            |        |      |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

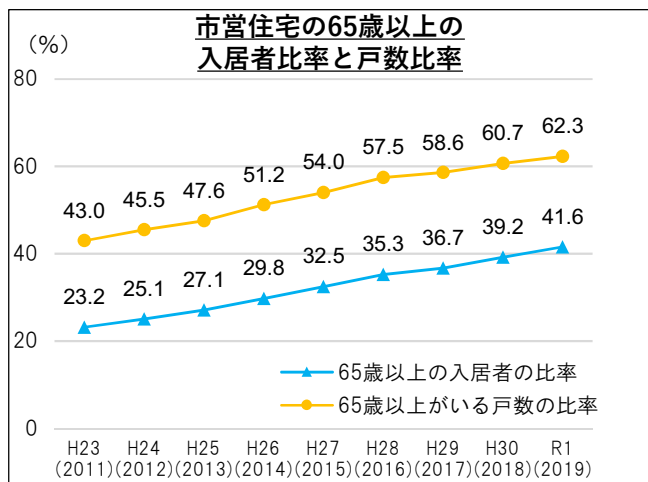
| 旧   | 新          |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
|---|------------|------------|-----|------------|-------|---|------------|-------|------|------------|-------|------|------------|-------|-----|---|----|------------|-----|------------|-------|---|------------|-------|------|------------|-------|------|-----------|-------|-----|
| <p>政策分野2 交通・道路</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> <div data-bbox="331 443 981 928" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>1日あたり地域公共交通利用者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人/日)</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H15 (2003)</td> <td>9,573</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H20 (2008)</td> <td>6,940</td> <td>▲28%</td> </tr> <tr> <td>H25 (2013)</td> <td>6,089</td> <td>▲12%</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>5,838</td> <td>▲4%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>■施策</p> <p>1 公共交通の充実</p> <p>➤ 公共交通の利用が困難で民間事業者が参入できない地区において、コミュニティ交通を行政が自主的に運行するなど、地域の実情に応じた多様な公共交通サービスの提供します。</p> <p>2 快適な道路ネットワークの構築</p> <p>《主な構成事業》</p> | 年度         | 利用者数 (人/日) | 増減率 | H15 (2003) | 9,573 | - | H20 (2008) | 6,940 | ▲28% | H25 (2013) | 6,089 | ▲12% | H30 (2018) | 5,838 | ▲4% | <p>政策分野2 交通・道路 (99, 100 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> <div data-bbox="1243 438 1892 922" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>1日あたり地域公共交通利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人/日)</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16 (2004)</td> <td>9,119</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H21 (2009)</td> <td>6,946</td> <td>▲24%</td> </tr> <tr> <td>H26 (2014)</td> <td>5,965</td> <td>▲14%</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>5,450</td> <td>▲9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※統計上の最新値は令和元（2019）年度</p> </div> <p>■施策</p> <p>1 公共交通の充実</p> <p>《主な取組》</p> <p>➤ 公共交通の利用が困難で民間事業者が参入できない地区において、コミュニティ交通を行政が自主的に運行するなど、地域の実情に応じた多様な公共交通サービスの提供します。</p> <p>2 快適な道路ネットワークの構築</p> <p>《__構成事業》</p> | 年度 | 利用者数 (人/日) | 増減率 | H16 (2004) | 9,119 | - | H21 (2009) | 6,946 | ▲24% | H26 (2014) | 5,965 | ▲14% | R1 (2019) | 5,450 | ▲9% |
| 年度  | 利用者数 (人/日) | 増減率        |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H15 (2003)  | 9,573      | -          |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H20 (2008)  | 6,940      | ▲28%       |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H25 (2013)  | 6,089      | ▲12%       |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H30 (2018)  | 5,838      | ▲4%        |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| 年度  | 利用者数 (人/日) | 増減率        |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H16 (2004)  | 9,119      | -          |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H21 (2009)  | 6,946      | ▲24%       |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| H26 (2014)  | 5,965      | ▲14%       |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |
| R1 (2019)   | 5,450      | ▲9%        |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |            |       |     |   |    |            |     |            |       |   |            |       |      |            |       |      |           |       |     |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新      |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
|---|--------|--------|------------|-----|------------|-----|------------|-----|------------|-----|-----------|-----|--|----|----|------|------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|-----|------|
| <p>本市場大淵線整備事業、五味島岩本線整備事業、中島林町線整備事業、左富士臨港線整備事業_____</p> <p>3 ～省略～</p> <p>政策分野3 景観・公園・住宅</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> <div data-bbox="338 732 981 1214"> <p><b>市民一人当たりの都市公園面積</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27 (2015)</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>H28 (2016)</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>H29 (2017)</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>H30 (2018)</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>R1 (2019)</td> <td>8.4</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 年度     | 面積 (㎡) | H27 (2015) | 8.2 | H28 (2016) | 8.3 | H29 (2017) | 8.3 | H30 (2018) | 8.3 | R1 (2019) | 8.4 | <p>本市場大淵線整備事業、五味島岩本線整備事業、中島林町線整備事業、左富士臨港線整備事業<u>など</u></p> <p>3 ～省略～</p> <p>政策分野3 景観・公園・住宅 (101, 102 ページ)</p> <p>■現状と課題</p> <p>1～3 ～省略～</p> <div data-bbox="1245 732 1888 1214"> <p><b>富士山の景観を活かした美しい都市づくりが<br/>できていると思う市民の割合</b></p> <p>平成30年度<br/>第47回世論調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>そう思う</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>31.8%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>40.9%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>19.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5.2%</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 回答 | 割合 | そう思う | 2.5% | ややそう思う | 31.8% | あまりそう思わない | 40.9% | そう思わない | 19.6% | 無回答 | 5.2% |
| 年度  | 面積 (㎡) |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| H27 (2015)  | 8.2    |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| H28 (2016)  | 8.3    |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| H29 (2017)  | 8.3    |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| H30 (2018)  | 8.3    |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| R1 (2019)   | 8.4    |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| 回答  | 割合     |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| そう思う  | 2.5%   |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| ややそう思う  | 31.8%  |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| あまりそう思わない   | 40.9%  |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| そう思わない  | 19.6%  |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |
| 無回答   | 5.2%   |        |            |     |            |     |            |     |            |     |           |     |  |    |    |      |      |        |       |           |       |        |       |     |      |

「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧 | 新 |
|---|---|
|---|---|



■ 施策

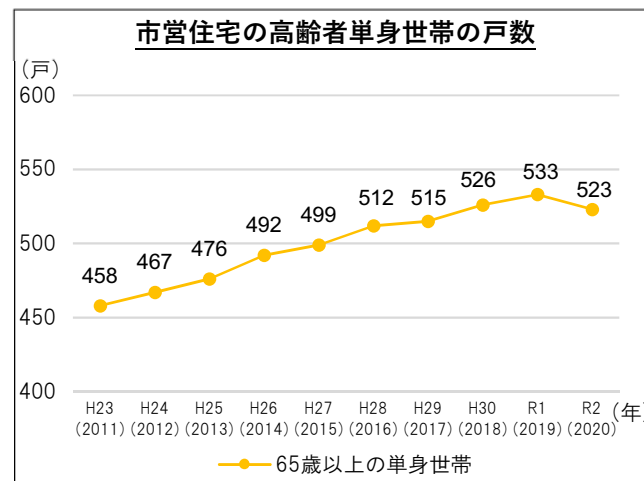
- 1 ～省略～
- 2 花と緑の環境の創出

《主な構成事業》

富士川左岸緑地整備事業、公園緑地維持管理事業、緑化推進活動事業、公園愛護会事業\_\_\_\_\_

- 3 安心して快適な住宅の確保

\_\_\_\_\_ 各市営住宅の特性を踏まえ、PPP/PFI手法の活用などの民間活力を活かした建て替えや改善による再生及び統廃合を進めます。



■ 施策

- 1 ～省略～
- 2 花と緑の環境の創出

《\_\_\_\_\_ 構成事業》

富士川左岸緑地整備事業、公園緑地維持管理事業、緑化推進活動事業、公園愛護会事業 など

- 3 安心して快適な住宅の確保

《主な取組》

\_\_\_\_\_ 各市営住宅の特性を踏まえ、\_\_\_\_\_ 民間活力を活かした建て替えや改善による再生及び統廃合を進めます。



「第六次富士市総合計画（案）」 新旧対照表

| 旧   | 新   |
|---|---|
| <p>第2節 持続可能な財政運営</p> <p>①現状と課題</p> <p>(1)～(2) ～省略～</p> <p>②主な取組</p> <p>(1) 持続可能な財政基盤の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>クレジット納付、マルチペイメント、アプリ等、市税の納付チャネルの拡大を検討し、納付環境の充実を図ります。</u></li> <li>・<u>QRコードを活用した納税通知書等、多言語化の検討を進めるとともに、厳正かつ適正な滞納整理により納税の公平性を確保し、収納率の向上を図ります。</u></li> <li>・</li> </ul> <hr/> <p>(2) ～省略～</p> <p>第2章 総合計画の進行管理</p> <p>第1節 行政評価を活用した指標の進行管理</p> <p>～省略～</p> <p>第2節 PDCAサイクルによる継続的な改善</p> <p>～省略～</p> | <p>第2節 持続可能な財政運営（108～109 ページ）</p> <p>①現状と課題</p> <p>(1)～(2) ～省略～</p> <p>②主な取組</p> <p>(1) 持続可能な財政基盤の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全国統一規格による納税用QRコードの導入等、市税の納付チャネルの拡大を検討し、納付環境の充実を図ります。</u></li> <li>・<u>納付方法等、市税情報を説明する多言語用QRコードの活用を検討し、外国人納税者の納税理解の促進を図ります。</u></li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>厳正かつ適正な滞納整理により納税の公平性を確保し、収納率の向上を図ります。</u></li> </ul> <p>(2) ～省略～</p> <p>第2章 総合計画の進行管理</p> <p>第1節 行政評価を活用した指標の進行管理（110 ページ）</p> <p>～省略～</p> <p>第2節 PDCAサイクルによる継続的な改善（111 ページ）</p> <p>～省略～</p> |